

各施設の利用状況等について（中間報告）【概要版】

資料 2

1 各施設の概要

施設名	労働会館	スポーツ・文化総合センター	川崎能楽堂	産業振興会館
ホール内観				
所在地	川崎区高津1-5-1	川崎区高津1-1-4	川崎区日吉町1-47	平塚市川町6-1-10
建築年月日	昭和55年3月31日（案1119）	平成35年3月28日（案493）	昭和61年11月1日（案3543）	昭和33年5月31日（案3399）
設置目的	労働組合その他の団体等における文化、娯楽、集会等の使用に供し、その健全なる発達を促し、及び労働者のための福利厚生施設として、その活動基盤の向上に資することを目的とする。	市民のスポーツ活動及び文化活動の振興を図るとともに、市民向けの文化の機会を提供し、もって豊かな市民生活の形成及び活力ある上級社会の実現に資することを目的とする。	市民の娯楽に資するたため、設置目的のため、※民間企業から前貸受給	在野の国際性、高度音楽性、技術革新等による産業振興の機運を促すたため、企業界における情報交流、企業の振興開発、販路开拓事業の推進等により、もって本市産業の発展と地域経済の活性化に資することを目的とする。
ホール関連面積	19,344㎡	31,500㎡	4,431.80㎡	4,917㎡
ホール定員	4,625席（固定）	3,010席（固定）	1,478席（正面55、後正面50、中正面473）	4,145席（可動式）
利用料金（平日） （時間当たり平均）	3,500.00円/時間	35,800.00円/時間 （入場料を徴収しない場合）	1,337.00円/時間	3,500.00円/時間 （入場料を徴収しない場合）
施設名	幸市民館	ラゾーナ川崎プラザソル	川崎シンフォニーホール	総合自治会館
ホール内観				
所在地	平塚市幸町1-1-2	平塚市川町2-1-1（ラゾーナ川崎プラザ5階）	平塚市大町1-3-10	川崎区川町4-3000（ラゾーナ川崎プラザ5階）
建築年月日	昭和55年3月31日（案1119）	平成13年3月31日（案1549）	平成15年12月18日（案1393）	令和2年3月24日（案1119）
設置目的	市民のたまり場、美しき市民館の教育、娯楽及び文化に関する各種の事業の行なわれ、市民の豊饒の向上を図るため。	市民の娯楽に資するたため、設置目的のため、※民間企業が全市に貸出し、市の百貨店への貸出し	音楽の普及の機会の提供、音楽活動の振興を図るとともに、市民文化の発展に資するたため。	市民の娯楽に資するたため、設置目的のため、※市が全市に貸出し、市の百貨店への貸出し
ホール面積	14,900㎡	6,941.30㎡	15,033.00㎡	4,444㎡
ホール定員	4,400席（固定）	2,000席（スタック式）	1,607席（固定）	2,000席（スタック式）
利用料金（平日） （時間当たり平均）	3,400.00円/時間	35,000.00円/時間 （入場料を徴収しない文化・娯楽目的利用時）	83,150.00円/時間（全席利用） 34,000.00円/時間（空席1半席）	3,400.00円/時間

※利用料金（時間当たり平均）については、平日利用した場合の利用料金を利用し、総時間数で除したものを示している（以下、同様）

※ホール関連面積は、地上等を合わせたもので、ホールに隣接する面積を含む（ホール以外の機能を各施設に共通しての共有施設（総合気候調整設備（2000㎡以上）付可入付））（以下同様）

施設名	国際交流センター	中原市民館	総合福祉センター	コンベンションホール
ホール内観				
所在地	中原区小月6組町1-1-1	中原区新町1-1-1 1F・2F・3F（サブシアター・高蔵村公民館・市民ライオン会・2階）	中原区小水田中0-1-10	中原区小形町2-2-7 3F-1
建築年月日	平成6年3月30日（竣工）	平成8年3月31日（竣工）	平成8年3月30日（竣工）	平成9年12月7日（竣工）
設置目的	市民の国際理解を促進するとともに、国際的な文化の交流及び市民交流を促進することを目的とし、国際理解を深め、市民の文化の向上及び国際友好親善の発展に資するため。	市民の生活、実生活に関する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行うことにより市民の教養の向上を図るため。	福祉に関する各種の事業及び市民生活に関する事業、市民による福祉活動を支援することを目的とし、市民の主体的な活動による地域福祉の推進を図り、市民の福祉の増進に資するため。	企業、民間機関、市民その他の多様な主体が交流する機会を創出し、市民の生活、文化の向上に資する機会を確保し、市民の生活経済の活性化その他の地域の活力の向上に資するため。
ホール面積	1033㎡	711㎡	2,112㎡	2036㎡
ホール定員	200名（運動式）	375名（運動式・スタジアム型）	900名（座席）	900名（スタジアム型）
利用料金（平日） （時間当たり平均）	1,183円/時間	1,078円/時間	3,134円/時間 （入場料を徴収しない場合）	70,944円/時間 （入場料を徴収しない場合）
施設名	川崎市民プラザ	高津市民館	男女共同参画センター	宮前市民館
ホール内観				
所在地	宮前区宮前1-1-1	宮前区津田1-4-1	宮前区溝口1-1-1	宮前区宮前下0-1-4
建築年月日	昭和44年11月1日（竣工）	平成94年9月12日（竣工）	昭和49年10月1日（竣工）	昭和59年11月30日（竣工）
設置目的	市民の健康の増進及び文化の振興を図るとともに、市民による交流の機会を創出し、市民の福祉の向上に資するため。	市民の生活、実生活に関する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行うことにより市民の教養の向上を図るため。	男女が社会の発展に資する機会を創出し、市民生活の向上に資する活動に資する男女共同参画社会の形成に資するため。 青少年の主体的な活動の推進に資するため。	市民の生活、実生活に関する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行うことにより市民の教養の向上を図るため。
ホール面積	1,416㎡	1,300㎡	1,314㎡	2,314㎡
ホール定員	448名	500名（スタジアム型）	400名	910名
利用料金（平日） （時間当たり平均）	3,350円/時間 （入場料を徴収しない場合）	2,805円/時間	3,134円/時間（本番利用） 1,004円/時間（常時利用）	2,805円/時間

施設名	多摩市民館	麻生市民館	アートセンター
ホール内観			
所在地	多摩区保戸1-7-5-1	国分區沼袋1-5-1	国分區沼袋6-7-1
建築年月日	平成24年11月30日(第2号)	昭和54年3月11日(第1号)	平成10年10月16日(第1号)
設置目的	市民のたのび、共済活動の教育、芸術及び文化に関する各種の事業を行ない、市民の教養の向上を図るため	市民のたのび、共済活動の教育、芸術及び文化に関する各種の事業を行ない、市民の教養の向上を図るため	芸術文化の創造、発信及び交流を促進するとともに、芸術文化の鑑賞の機会を提供し、市民の芸術文化の発展に寄与するため
ホール面積	3,070㎡	3,300㎡	3,371㎡
ホール定員	993名	1,010名	1,051名
利用料金(平日) (時間当たり平均)	2,300円/時間	2,300円/時間	5,140円/時間(本ホール) 3,090円/時間(練習・準備)

＜利用用途別利用率(下表)について＞

- ほとんどの施設において、上乗金納付・有料の利用での利用が上位となっており、特に、多摩市民館(6-4)と川崎市市民プラザ(6-4)は突出した利用率となっている。
- また、川崎施設課における「上乗金納付・有料」の川崎市民プラザホールやアートセンターにおける「演劇・ミュージカル・コンベンションホール」における「公演・研修会等」の利用率が見られるように「娯楽納付・有料」以外の用途の利用率が突出している施設もある。利用用途に偏りがみられる施設がある。
- スポーツ・文化総合センターのその地区別の利用率(全体の8.9%)は内覧志である。
- 産業振興センターのその地区別の利用率(全体の8.8%)は福祉・市場である。
- 男女共同参画センターのその地区別の利用率(全体の25.4%)は人材開発である。

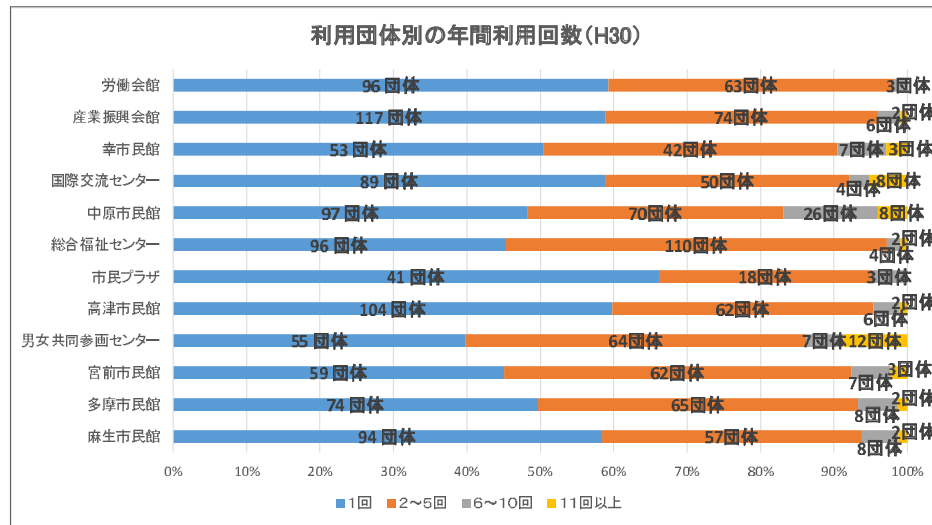
2 各施設の利用率と利用用途別利用割合(平成30年度)

施設名	利用率	利用割合(保守点検日等を除き、利用のあったコマ数全体のうちの各利用用途で使用したコマ数の割合)													
		娯楽納付・有料	文化・芸術・生活納付	展示会	演劇・ミュージカル	ダンス	パフォー	衣類式	研修教育	日本舞踊・音	カラオケ	映画会	生活納付の生活納付金	その他	その他
労働会館	54.2%	30.7%	38.2%	—	0.1%	1.0%	2.0%	3%	—	2.6%	—	0.0%	0.3%	2%	6.0%
スポーツ・文化総合センター	80.8%	48.7%	1.4%	—	1.0%	4.7%	5.2%	1.2%	—	0.6%	—	0.4%	1.4%	1.6%	16.6%
川崎能楽堂	28.1%	13.0%	—	—	0.7%	—	—	—	—	30.0%	—	—	—	—	0.4%
産業振興会館	69.0%	10.0%	47.2%	1.2%	2.2%	0.7%	—	1.2%	—	—	0.4%	—	—	2.2%	30.4%
三市市民館	57.3%	17.6%	19.6%	—	1.6%	3.6%	4.4%	—	3.8%	0.7%	—	0.7%	2.4%	0.2%	11.2%
ラゾ ナ川崎フラザソル	94.0%	0.6%	9.0%	5.0%	61.2%	8.6%	0.0%	0.0%	—	—	—	0%	0.2%	0.0%	1.6%
川崎シンフォニーホール	95.9%	08.1%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0%
総合福祉会館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国際交流センタ	70.2%	21.3%	18.2%	—	2.0%	22.2%	1.7%	0.3%	—	0.1%	0.3%	2.6%	0.7%	0.1%	3.7%
川崎市市民プラザ	83.2%	24.0%	20.3%	—	0.6%	52.3%	0.1%	0.1%	—	—	—	—	0.1%	2.3%	8.3%
総合福祉センター	80.2%	21.3%	25.3%	—	7.0%	0.4%	5.4%	0.3%	—	—	2%	5.0%	1.7%	0.1%	0.0%
コンベンションホール	22.7%	—	100%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
川崎市市民プラザ	25.2%	33.4%	1.2%	—	—	0.3%	9.2%	—	4.1%	2.2%	—	—	—	0%	2.2%
津市市民館	70.7%	11.4%	32.3%	5.1%	2.1%	0.6%	0%	0.3%	—	3%	—	5.2%	—	1.2%	0.1%
男女共同参画センタ	82.0%	112.1%	0.0%	—	4.8%	3.8%	0.0%	0.4%	5.6%	0.4%	0.4%	0.4%	0.2%	18.0%	51.8%
国分市市民館	75.8%	21.1%	8.8%	—	2.7%	0.0%	5.6%	0.3%	8.8%	—	—	0%	—	0.7%	1.0%
多摩市市民館	79.0%	39.1%	13.8%	1.2%	1.3%	3.1%	19.1%	—	3.3%	0.9%	—	1.1%	0.5%	2.7%	12.4%
麻生市市民館	79.3%	17.2%	16.2%	—	8.1%	6.1%	5.0%	—	3.4%	0.7%	0.4%	1.6%	—	0.3%	10.2%
アートセンタ	55.6%	5.3%	0.0%	—	37.2%	4.0%	—	—	—	—	—	4.3%	0.2%	2.1%	7.2%

本利用率は、保守点検日等を除き、利用可能なコマ数のうち利用のあったコマ数の割合により算出。
 本利用割合は、保守点検日等を除き、利用のあったコマ数全体のうちの各利用用途で使用したコマ数の割合により算出。
 本表は、各施設が保有する平成30年度の利用者申請書(一部欠損あり)を基に集計しており、第1回統計専門部会で提示した「2018年度利用状況」の申請書と異なる。
 本表申請書が前年度から利用中止のあったり、利用用途が別々のコマ数の割合であったり、利用中止後の利用料等の情報から利用率を算出しているものがある(利用者名「〇〇〇〇」)。→ 別途「施設」の2。
 なおその他の情報については、各施設の広報資料を参照(資料3-1→資料3-1-9)。

3 利用団体の状況

- 各施設の利用団体別の年間利用回数を見ると、ほとんどの施設で**利用団体の半数以上は年1回の利用**となっている。
- 多くの施設において、楽器演奏・合唱の用途での利用が上位であるが、**施設ごとに特定の利用目的（楽器演奏・合唱以外）でのリピーターが一定数存在**。
- 複数回利用団体の主な利用用途を確認すると、**地域団体が拠点として利用しているケース（地劇鑑賞会・合唱団練習・和太鼓練習など）、地域の音楽教室等が拠点としているケース（ピアノ発表会など）**などが見られる。



施設名	複数回利用団体の主な利用用途
労働会館	会議・研修・講習会等、楽器演奏・合唱
産業振興会館	物販・市場、会議・研修・講習会等、楽器演奏・合唱
幸市民館	和太鼓練習・新古習、会議・研修・講習会等、 演劇 、健康診断
国際交流センター	ジャザサイズ 、楽器演奏・合唱（地域の会館による利用）
中原市民館	ダンス 、運動の講習・新古習、楽器演奏・合唱
総合福祉センター	演劇 、会議・研修・講習会等、生活発表会（壮年協会）、バレー
市民プラザ	楽器演奏
高津市民館	会議・研修・講習会等、運動の講習・新古習
男女共同参画センター	和太鼓練習 、楽器演奏・合唱
宮前市民館	和太鼓練習・新古習、健康診断、ダンス、バレー
多摩市民館	和太鼓練習・新古習、 演劇 、楽器演奏・合唱
麻生市民館	和太鼓練習・新古習、音楽・ダンス等の総合イベント、楽器演奏・合唱

※アンケートには未回答の施設も含まれているため、施設利用等の修正や修正後の人口の市見等により、実際の利用状況とは異なる場合がある。
 ※一部に集積のない施設（アートセンターなど）については、集積ネットワークを利用したアンケートを行っていないため、集計数値を削除している。

4. 各施設の収支状況

		労働会館	スポーツ・文化 総合センター	川島産業館	産業振興会館	幸市民館	57号川原 プラザ	川島市民プラザ	総合自治会館	国際交流センター	中原市民館
収支・経費月次	市の支出	262,661千円	5,200,000千円	42,670千円	467,661千円	7,410千円	270,008千円	1,610,580千円	418,080千円	609,940千円	400,110千円
	市の収入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
経理・運営期間 IT28-IT30-01	市の支出（年間）	307,440千円	50,100千円	20,010千円	15,085千円	45,765千円	34,600千円	326,500千円	10,000千円	18,000千円	21,864千円
	市の収入（年間）	—	—	—	—	6,435千円	—	—	—	—	7,400千円
		総合福祉センター	コンベンション ホール	川島市民プラザ	高津市民館	男女共同 参画センター	宮前市民館	多摩市民館	麻生市民館	アートセンター	
収支・経費月次	市の支出	1,039,008千円	8,410,061千円	26,008千円	364,281千円	467,007千円	462,061千円	680,006千円	221,128千円	620,248千円	
	市の収入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
経理・運営期間 3128-3130-01	市の支出（年間）	44,050千円	7,880千円	57,777千円	40,765千円	44,000千円	60,000千円	16,100千円	35,000千円	26,400千円	
	市の収入（年間）	—	6,985千円	—	12,014千円	—	11,000千円	15,868千円	5,000千円	—	

※本表の収支の集計（宗廟等）は、統合した施設については、その部分の収支が別館に区分される支出・収入を除き、その部分（その専用品や家具、楽器、印刷費、その専用品など）を除く以外の部分の面積割合により集計している。

※本表の収支の集計は、その部分の集計が複数層にわたる場合を除き、集計されている場合があるため、収支の正確な数値とは異なる場合があります。

※スポーツ・文化総合センター（完成済）（2023年6月完成）とコンベンションホール（完成済）（2023年11月完成）の収支は、2023年度分の収支に集計されている。

※総合自治会館（令和2年10月完成）の収支は、令和2年度分の収支に集計されている。

5. 各施設のあり方に関する施設所管課の考え方

<p>●ほぼすべての施設について、施設等を実現するために活動の場が必要であるという見方であった、</p> <p>●一方で、施設の立地場所や規模については検討の余地があると考えている意見のほか、利用率が低い施設・老朽化が進んでいる施設等については施設のあり方の検討が必要だと認識している部署もあった。</p>		
施設名	条例上の施設の設置目的（再掲）	施設所管課の考え方
労働会館	労働組合等の他諸団体における文化、娯楽、集会等の使用に用い、その他健全なる発祥を促し、労働者等のための福利厚生に資することを、その活動の向上に資することを目的とする。	労働組合等の定例会や各所管課の休日、音楽やダンス、活動など、 労働者の福利厚生に繋がる場合は必要である と考えている。労働者に対する福利厚生に繋がる利用の促しについて
スポーツ文化複合センター	市民のスポーツ活動及び文化活動の振興を図るためなら、市民相互の交流の機会を提供し、かつ <u>豊かで市民生活の形成及び活力ある地域社会の形成に資するため</u>	スポーツ・文化複合センターの規模、設置としてアスレチックマニアーズの市民棟で決断しており、 市民に対して費の高い施設を確保する機会を提供するとともに、且その市民活動の発表の場としても活用 されている。今後も両者の バランスを取りながら、収支の面でも持続可能な運営を行っていく必要がある と考えている
川崎音楽堂	多目的ホール	川崎音楽堂は川崎市音楽協会の母体、川崎管弦楽団が、練習や音源制作等の、目的がもたらさないという点があるため、 利用率や施設の老朽化の課題を抱えており、今後の方向性を検討していく必要がある
産業振興会館	経済の国際化、高度情報化、技術革新等による産業構造の変化に対応するため、 <u>企業間における情報交換、企業間の経営助成、販路開拓事業の推進等</u> を図り、かつ <u>本市産業の発展と地域経済の活性化に資するため</u>	産業振興会館は本市産業の発展と地域経済の活性化等の観点、様々な企業支援を実施しており、 産業振興会館ホールの本来的目的（企業等の会議、展示会等）が実施できる場が必要である ことから、それらの 目的が阻害されなければ機能の見直しは可能 である。
ラゾーナ川崎プラザソル	多目的ホール	ラゾーナ川崎プラザソルは主に劇団での利用を返上された施設であり、利用も少ないことから、市民の文化芸術活動の振興に資する場として、今後も引き続き 市民の文化芸術活動の振興に資するため、継続して活用 を行ってきたい
川崎シンフォニーホール	音楽の鑑賞の機会の提供、音楽活動の振興を促し、かつ市民文化の発展に資するため	川崎シンフォニーホールは世界水準の演奏会音楽性能を誇り、国際的にも評価の高いホールとして、市民が求める音楽の場としての中核施設となっている。今後も良質な音楽の鑑賞機会の提供や、市民の賑わいの社会としての運営会などをを行うことで、市の価値を高めながら地域の文化拠点としての 取組を継続 していく。
総合自治会館	多目的ホール	総合自治会館は市民の、全市民の福祉の観点から市民自治活動の場、学習等の場、市民活動の多目的利用がされている。今後も 多目的な利用も促しながら市民自治活動を推進 していきたい。
国際交流センター	市民の国際理解を促進するため、 <u>国際的な文化交流及び市民交流を促進</u> することを目的とし、国際理解を深め、かつ市民の文化の向上及び国際友好親善の発展に資するため	国際交流センターに関する事業を実施するにあたり、国内外の文化の発展の場などにおいて、 国内外の文化の相互理解を深めることが重要であり、ホールなどの場は必要 であると考えている。 立地場所については、中原が適切であるかは検討する余地がある ことと、必要な事業を実施可能であれば、 他施設との複合化の可能性も考えられる 。
総合福祉センター	福祉に関する情報の収集及び提供等を行うとともに、市民による福祉活動を支援することを目的とし、 <u>市民の主体的な活動による地域福祉の推進</u> を図り、かつ <u>市民の福祉の増進に資するため</u>	福祉の推進に資する事業やイベントを実施する場が必要 であると考えており、ホールについては、福祉に係る様々な場としての役割も期待しているが、 地域福祉の推進に資するイベント等を含め、利用を促していくことが望ましい と考えている。
コンベンションホール	企業、研究機関、市民その他の多様な主体が交流する機会を創出することを目的とし、これらの者の間における連絡を促し、かつ <u>地域経済の高度化その他の地域の活力の向上に資するため</u>	コンベンションホールは、企業等の交流等目的の開催を目的とした施設であり、 オープンインベシジョンの創出や観光産業を含めた川崎市の発展に向けて核となる施設は必要 である。今後も新たな利用主体の誘引に取り組むが、引き続き川崎市の発展に資する取組を継続していきたい。
川崎市民プラザ	市民の娯楽の増進及び文化の振興を図るためなら、市民相互の交流の機会を提供し、かつ <u>市民の福祉の向上に資するため</u>	市民の文化振興を推進するための場は必要 であると考えている。しかしながら、 ホール等の利用率が低く、老朽化も進んでいることから、施設自体の方向性を検討する時期に来ている と考えている。
男女共同参画センター	男女が社会の発展に貢献し、かつその分野における活動に資するため、 <u>男女共同参画社会の形成</u> に資するため、 <u>青少年の主体的な社会参加活動の促進</u> に資するため	男女共同参画センターは、男女共同参画を推進する拠点として、 男女平等の意識啓発（講座、講習等）を行うためにホールが必要 となる。 ホールの規模としては今よりもコンパクトで平場にもなる方が事業を行いやすい 場面もあり、利用実績も見極めながら、今後の方向性を検討していく。
アートセンタ	芸術文化の創出、発信及び交流を促進するとともに、 <u>芸術文化の普及の機会</u> を提供し、かつ <u>市民の芸術文化の発展に資するため</u>	アートセンターは、 文化芸術活動の発信を行う拠点として必要 であると考えている。また、利用を促していきたいと考えているが、 ホール規模が小さいことから収支が取りづらい ことが課題であると考えている。
各市民館	市民の生活や、実生活に役立つ教育、学術及び文化に関する各種の事業を行うため、かつ <u>市民の生活の向上に資するため</u>	市民館は市民の生活や、実生活に役立つ教育や文化活動の場として活用されている。市民の主体的な活動の場として活用されている。社会教育施設として、 地域住民が日頃学んだ成果や文化活動等を発表する場としてホールは必要 であると考えており、今後も市民活動の場として活用していく。

1. 施設概要

労働会館は昭和26年の閉館以来、昭和56年に現在の労働会館として開館した。労働組合その他の諸団体の健全な発達を図り、また、働く市民の皆様の勤労意欲の向上に資するため、「いいい」「語らい」「学びあう」ための場を提供し、情報の収集・提供、学習、研修などの事業を実施している。館内には、762人収容のホールをはじめ、会議室が5室、特別会議室、研修室が3室等、様々な機能を有している。ホールにおいては、廻り舞台が特徴的であり、利用状況としては音楽、会議のほか、日本舞踊として多く利用されている。

また、「川崎市における市民館機能のあり方」において、労働会館の一部を改修し、教育文化会館の市民館機能を移転することとし、「川崎市教育文化会館及び川崎市立労働会館の再編整備に関する基本構想」が策定され、現在、改修に向けた設計を行っている。

《施設諸元》

所在地 : 川崎市川崎区富士見2-5-2
 建築年月日 : 昭和56(1981)年8月31日 【築40年】
 構造 : 鉄筋コンクリート造
 階層 : 地上5階、地下1階
 敷地面積 : 4,782㎡
 建物面積 : 10,109㎡
 ホール面積 : 1,934㎡ (楽屋等含めたホール関連部分の面積)
 ホール定員 : 762席 (移動席74席、固定客席688席)
 使用時間 : 午前9時から午後9時30分まで
 休館日 : 年末年始(12月29日～1月3日)

《位置図》



舞台①



舞台②



客席①



客席②

《利用料金》

単位：円

利用料金	9:00～	12:30～	17:30～
	11:30	16:30	21:30
平日	7,200円	10,800円	14,400円
土日祝	8,640円	12,960円	17,280円

《条例上の位置付け(川崎市立労働会館条例より)》

設置目的

労働組合その他諸団体における文化、慰楽、集会等の使用に供し、その健全なる発達を図り、及び労働者のための福利厚生施設の設け、その勤労意欲の向上に資することを目的とする。

業務内容

- ・労働者のための研修会、講演会等の開催に関する事。
- ・施設及び設備を利用に供すること。
- ・その他設置目的を達成するために必要な事業に関する事。

《政策的な位置付け(総合計画第2期実施計画より)》

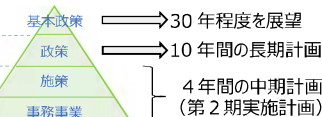
基本政策4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

政策4-3 生き生きと働き続けられる環境をつくる

施策4-3-2 働きやすい環境づくり

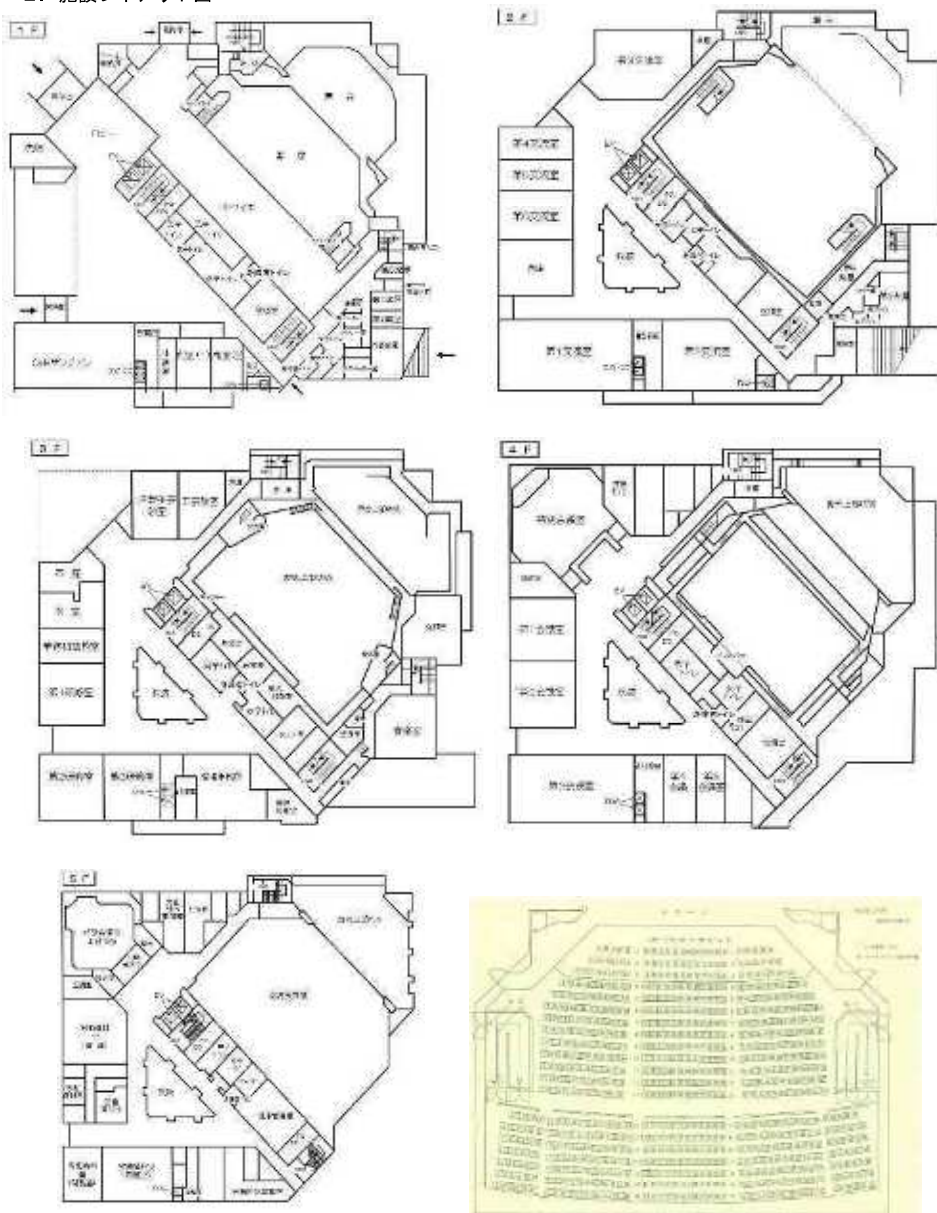
事務事業 労働会館の管理運営事業

政策体系イメージ



労働組合その他諸団体の健全な発達と市民の勤労意欲向上に資するため、「いいい」「語らい」「学びあう」ための場を提供するとともに、情報の収集・提供、学習・研修などを実施します。

2. 施設レイアウト図



3. 利用用途

平成30年度の利用状況の詳細は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
楽器演奏・合唱	161コマ	29.5%
会議・研修・講演会等	157コマ	28.2%
日本舞踊	70コマ	12.6%
幼稚園等の発表会	35コマ	6.3%
ダンス	33コマ	5.9%
演劇	30コマ	5.4%
太鼓	11コマ	2.0%
バレエ	11コマ	2.0%
その他	36コマ	6.5%
不明	9コマ	1.6%
保守・点検・清掃等	70コマ	—
利用無し	469コマ	—
	1095コマ	

その他内訳	コマ数
表彰式	9コマ
民謡	8コマ
クイズ大会	6コマ
映画会	5コマ
技能コンクール	3コマ
ボデイビル選手権	3コマ
スピーチコンテスト	2コマ
	36コマ

利用率：54.2%

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	回数	団体名	コマ数
団体A（講習会）	8回	団体A（講習会）	20コマ
団体B（楽器演奏）	6回	団体D（楽器演奏）	15コマ
団体C（日本舞踊）	6回	経済労働局労働雇用部	9コマ
団体D（楽器演奏）	5回	団体J（日本舞踊）	9コマ
団体E（講演会）	5回	団体K（楽器演奏）	9コマ
団体F（発表会）	4回	団体B（楽器演奏）	8コマ
団体G（楽器演奏）	4回	団体F（発表会）	8コマ
団体H（太鼓）	4回	団体L（会議）	8コマ
団体I（演劇）	4回		

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

5. これまでの主な修繕内容及び今後想定される修繕内容

【主な修繕内容】

- 平成21（2009）年度：高架水槽改修（対象：施設全体）
- 平成24（2012）年度：空調設備オーバーホール（対象：施設全体）
- 平成26（2014）年度：舞台吊物ワイヤー改修（対象：ホール）
- 平成30（2018）年度：乗用エレベーター改修（対象：施設全体）

※現在、大規模改修に向けた設計を実施している。

6. 収支状況（ホール関連部分）

新築・改修事業費及び平成28～30年度の収支状況は以下の通り。

＜施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値＞

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	219,741		公有財産台帳より
施設全体	30,690		令和2年度までの改修費
ホール部分	12,230		令和2年度までの改修費
改修事業費	42,920		
新築・改修事業費合計	262,661		

●平成30年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	29,247		
支出合計	29,247		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		29,247	
ホール利用料		13,767	
その他		2,384	光熱水費分担金、受講料ほか
収入合計		45,398	
人件費相当額	5,791		
施設管理運営費	19,091		
電気料	4,108		
ガス料	1,763		
水道料	1,162		
小破修繕料	620		
その他経費	5,021		
施設維持管理運営費	31,765		
支出合計	37,556		

●平成29年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	29,362		
支出合計	29,362		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		29,362	
ホール利用料		12,629	
その他		2,605	光熱水費分担金、受講料ほか
収入合計		41,992	
人件費相当額	7,417		
施設管理運営費	18,634		
電気料	3,813		
ガス料	1,562		
水道料	1,120		
小破修繕料	968		
その他経費	4,311		
施設維持管理運営費	30,407		
支出合計	37,824		

●平成28年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	29,439		
支出合計	29,439		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		29,439	
ホール利用料		13,005	
その他		1,892	光熱水費分担金、受講料ほか
収入合計		42,443	
人件費相当額	6,094		
施設管理運営費	18,958		
電気料	4,115		
ガス料	1,441		
水道料	1,304		
小破修繕料	1,257		
その他経費	3,838		備品賃借料ほか
施設維持管理運営費	30,913		
支出合計	37,007		

7. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

労働組合の定期大会や各種研修のほか、音楽やサークル活動など勤労者の福利厚生に繋がる場合は必要であると考えている。今後も労働者の福利厚生に繋がる利用を促していく。

1. 施設概要

川崎市スポーツ・文化総合センターはスポーツセンター機能とホール機能を持つ複合施設として、PFI 事業にて、平成26年に工事着手し、平成29年に完成した。市民の利便性の向上や安全性の確保に努めるとともに、スポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点機能として富士見公園の再生と活性化に寄与している。

ホールの主な利用用途は音楽であるが、演劇やバレエなど多目的に利用されている。2,000人規模の客席を有しており、演者としての市民利用だけでなく、興行としてプロアーティストのコンサートなども多く利用されている。



舞台①

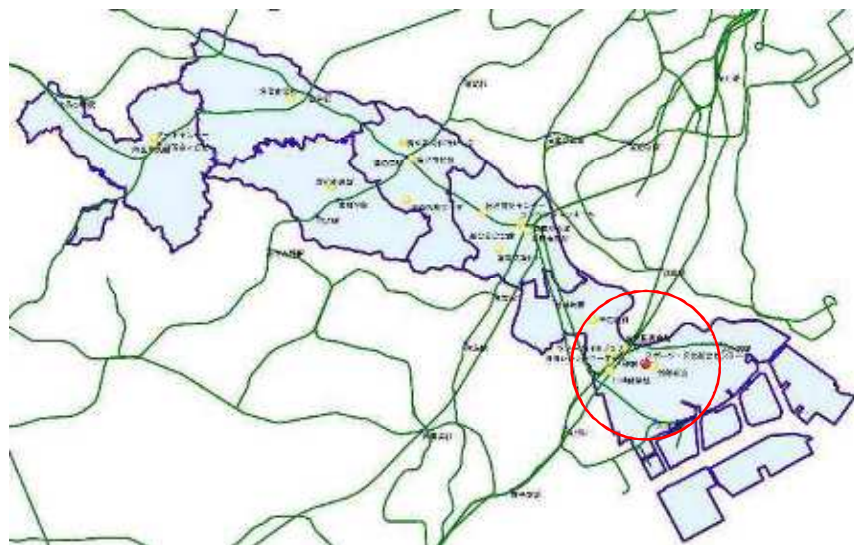
舞台②

客席

《施設諸元》

所在地 : 川崎市川崎区富士見1丁目1番4号
 建築年月日 : 平成29(2017)年6月28日 【築4年】
 構造 : 鉄骨造
 階層 : 地上4階、地下1階
 敷地面積 : 13,230㎡
 建物面積 : 25,423㎡
 ホール面積 : 6,257㎡ (楽屋等含めたホール関連部分の面積)
 ホール定員 : 2,013席 (1~3階席)
 使用時間 : 午前9時から午後9時30分まで
 休館日 : 年末年始(12月29日~1月3日)、偶数月の第4月曜日

《位置図》



《利用料金》

単位：円

入場料の有無		9:00~ 12:00	13:00~ 16:30	17:30~ 21:30
全客席 (1~3階席)	無し	78,000円	118,300円	156,000円
	3,000円未満	117,000円	177,400円	234,000円
	3,000円以上	156,000円	236,600円	312,000円
2,013席	無し	70,200円	106,470円	140,400円
	3,000円未満	105,300円	159,660円	210,600円
	3,000円以上	140,400円	212,940円	280,800円
1~2階席	無し	62,400円	94,640円	124,800円
	3,000円未満	93,600円	141,920円	187,200円
	3,000円以上	124,800円	189,280円	249,600円
1階席	無し	62,400円	94,640円	124,800円
	3,000円未満	93,600円	141,920円	187,200円
	3,000円以上	124,800円	189,280円	249,600円

※曜日、日曜日及び国民の祝日に利用するときは、規定利用料の2割増相当額

《条例上の位置付け(川崎市スポーツ・文化総合センター条例より)》

設置目的

市民のスポーツ活動及び文化活動の振興を図るとともに、市民相互の交流の機会を提供し、もって豊かな市民生活の形成及び活力ある地域社会の実現に寄与するため、川崎市スポーツ・文化総合センターを設置する。

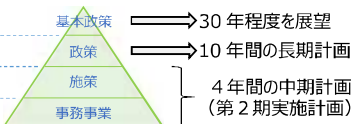
業務内容

- ・施設及び設備を利用供すること。
- ・スポーツの指導及び助言に関すること。
- ・スポーツ及び体力についての相談に関すること。
- ・各種スポーツ教室の開催に関すること。
- ・スポーツの指導者養成のための研修会及び講習会の開催に関すること。
- ・音楽、演劇、美術等の鑑賞会、講演会、展示会等の開催に関すること。
- ・スポーツ及び文化に係る情報提供に関すること。

《政策的な位置付け(総合計画第2期実施計画より)》

- 基本政策4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり
- 政策4-8 スポーツ・文化芸術を振興する
- 施策4-8-1 スポーツのまちづくりの推進
- 事務事業 スポーツセンター等管理運営事業

政策体系イメージ

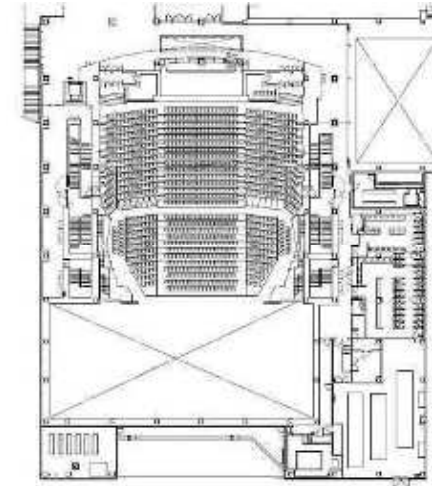


市民の心身の健全な発達やスポーツの普及等に向け、子供から高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、身近な場所でスポーツなどの活動に親しめる環境づくりに取り組みます。

2. 施設レイアウト図



ホール平面図



3. 利用用途

平成30年度の利用状況の詳細は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
楽器演奏・合唱	393 コマ	48.7%
会議・研修・講演会等	92 コマ	11.4%
演劇	87 コマ	10.8%
バレエ	42 コマ	5.2%
ダンス	38 コマ	4.7%
芸能祭・芸術祭	13 コマ	1.6%
ファン感謝イベント	12 コマ	1.5%
表彰式	10 コマ	1.2%
その他	53 コマ	6.6%
不明	11 コマ	1.4%
内覧対応	56 コマ	6.9%
保守・点検・清掃等	96 コマ	—
利用無し	192 コマ	—
	1095 コマ	

その他内訳	コマ数
民謡	8 コマ
太鼓	6 コマ
ダブルダッチ	6 コマ
スキルコンテスト	6 コマ
お笑い	5 コマ
観賞・観覧	5 コマ
能・狂言体験教室	5 コマ
撮影	3 コマ
寄席	3 コマ
落語	3 コマ
幼稚園発表会	3 コマ
	53 コマ

利用率：80.8%

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	コマ数
団体A (楽器演奏)	31 コマ
カルッツかわさき	22 コマ
団体B (文化芸術)	17 コマ
団体C (コンサート等)	15 コマ
団体D (音楽)	12 コマ
経済労働局	12 コマ
団体E (福祉)	12 コマ
団体F (コンサート等)	9 コマ
団体G (コンサート等)	9 コマ
団体H (演劇)	9 コマ
団体I (メディア)	9 コマ

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

5. これまでの主な修繕内容及び今後想定される修繕内容

特に無し

6. 収支状況

新築・改修事業費及び平成30年度の収支状況は以下の通り

<施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値>

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	3,205,591		公有財産台帳より
施設全体	0		令和2年度までの改修費
ホール部分	0		令和2年度までの改修費
改修事業費	0		
新築・改修事業費合計	3,205,591		

●平成30年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	90,152		
支出合計	90,152		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		90,152	
ホール利用料		130,606	
その他収入		36,515	チケット収入ほか
収入合計		257,274	
施設管理運営費	240,557		
電気料	12,233		
ガス料	1,470		
水道料	1,397		
その他経費	1,882		
施設維持管理運営費	257,539		
支出合計	257,539		

7. 各施設のあり方に関する施設所管課の考え方

スポーツ・文化総合センターは、演者としてプロからアマチュアの市民までの利用を想定しており、市民に対して質の高い音楽等を提供するとともに、日頃の市民活動の発表の場としても活用されている。今後も両者のバランスを取りながら、収支の面でも持続可能な運営を行っていく必要があると考えている。

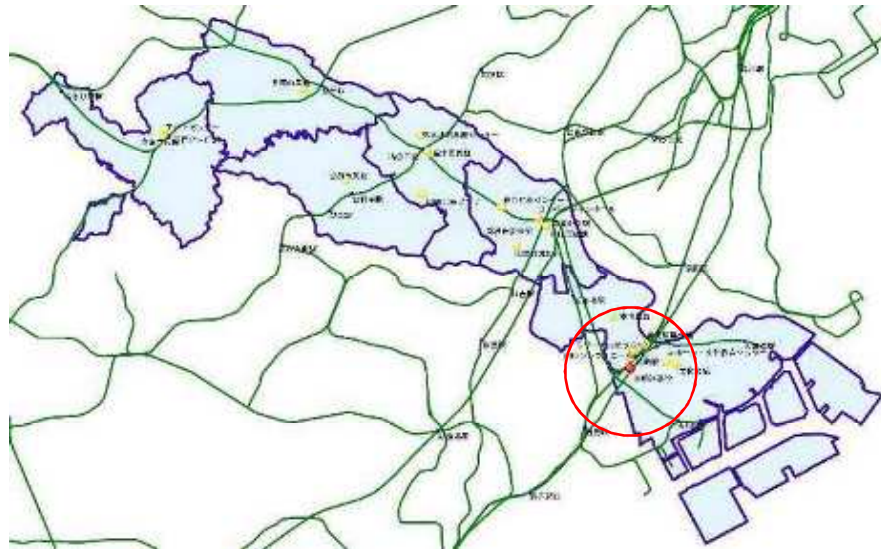
1. 施設概要

川崎能楽堂は、川崎市川崎区日連町1-37
川崎能楽堂は、川崎市川崎区日連町1-37に開設した。本来は川崎能楽会としての専用ホールである。舞臺を中心に前席を主としたボックス・ボックスの配置、演奏、観賞の場として利用されるほか、また、主催事業としての川崎能楽の音楽祭、能楽教室などを開催している。

《施設諸元》

- 所在地 : 川崎市川崎区日連町1-37
- 建築年月日 : 昭和31(1956)年11月1日【築35年】
- 構造 : 鉄筋コンクリート造
- 階層 : 4F1階
- 敷地面積 : 5,436.57㎡
- 建物面積 : 5,436.32㎡
- ホール面積面積 : 5,436.32㎡
- ホール定員 : 1,436席
- 利用時間 : 午前9時から午後9時まで
- 休館日 : 年末年始(12月29日～1月3日)、春休み(2月)

《位置図》



舞臺



舞臺



客席

《利用料金》

単位:円

入場料の有無	利用時間		
	9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	17:00~ 21:00
無料の場合	平日	15,700円	30,100円
	土日祝	18,300円	40,400円
1,000円未満 (3割増)	平日	20,410円	40,640円
	土日祝	24,440円	49,800円
3,000円未満 (5割増)	平日	25,550円	57,650円
	土日祝	29,290円	69,300円
3,000円以上 (10割増)	平日	31,400円	69,300円
	土日祝	37,300円	80,400円

※和室は市庁舎内

※1階、2階の準備室のみ利用は無料

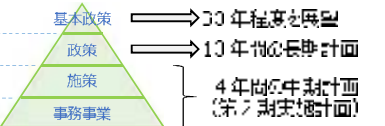
《条例上の位置付け》

条例の趣意は市民の文化、芸術上の向上を目的とする。

《政策的な位置付け(総合計画第2期実施計画より)》

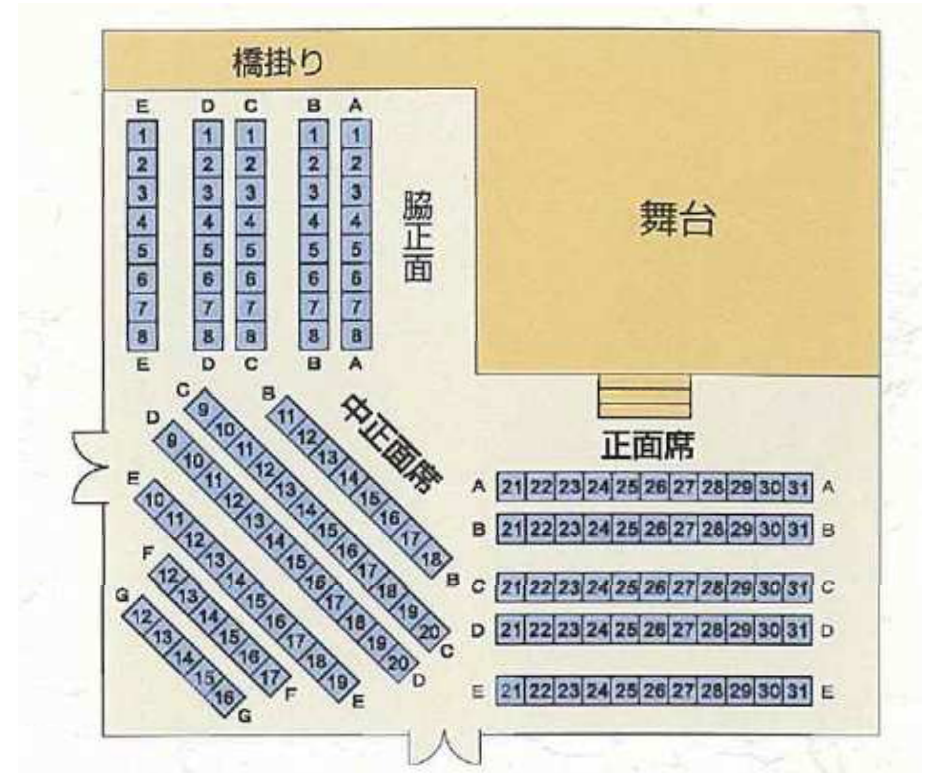
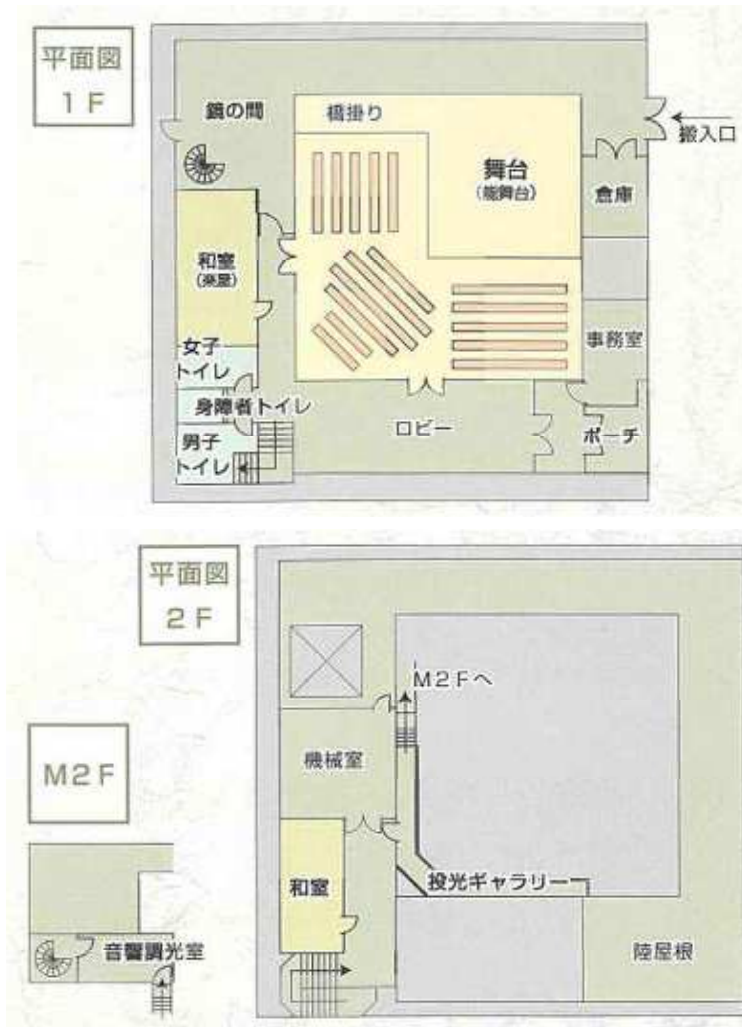
- 基本政策④ 民力活用による市民文化の振興
- 政策④ オペラハウス・文化芸術会館の活用
- 施策④-1 市民の文化芸術活動の振興
- 事務事業 市民文化活動支援事業

政策体系イメージ



市民の参加文化芸術活動は平等との芸術・文化による、芸術者や観客の両方、誰もが気軽に文化芸術に参加し、より多くの市民が文化芸術の楽しさを享受し、本市の魅力を誇りを持ち、創造的で人間らしく豊かに暮らす社会づくりを促す。

2. 施設レイアウト図



3. 利用用途

下表は10年間の利用状況の合計値(以下)です。

利用用途	コマ数	割合
バレエ・舞踊・能	302コマ	85.8%
舞踊演奏・合唱	28コマ	7.9%
演劇	2コマ	0.7%
E学会	1コマ	0.3%
保守・点検・清掃等	102コマ	—
利用未定	700コマ	—
	395コマ	

利用率：28.1%

本施設運営の健全性(即座時の収支差益(赤字)を分析・処理することにより)を目的

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用者数1人当りの団体数以下の通り

団体名	コマ数
川崎市文化財団	136コマ
団体A（日本舞踊・弦）	9コマ
団体B（華楽演奏）	9コマ
団体C（日本舞踊・弦）	9コマ
団体D（日本舞踊・弦）	6コマ
団体E（日本舞踊・弦）	4コマ
団体F（日本舞踊・弦）	4コマ
団体G（日本舞踊・弦）	4コマ
団体H（日本舞踊・弦）	4コマ
団体I（日本舞踊・弦）	4コマ

※施設運営（総務科（川崎市の行政事務が記載））を介介・整理する、とにより(出)

5. これまでの主な修繕内容

- 平成31（2020）年度：空調設備点検（対象：施設全体）
- 令和1（2019）年度：外壁点検（対象：施設全体）

6. 今後想定される修繕内容（所管局要求分）

- 総合機械室修繕（対象：施設全体）

7. 収支状況

※注：※経事業費及び平成28・29年度の収支状況に以下の通り

●新築・改修事業費 単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	0		寄付
改修事業費	42,870		令和2年度までの改修費
新築・改修事業費合計	42,870		

●平成30年度収支状況

・市としての支出 単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	0		
補助金	25,370		
支出合計	25,370		

・施設管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		0	
ホール利用料		2,412	
その他利用料		0	
利用料収入		2,412	
入場料収入		7,075	
川崎市補助金		25,370	
その他収入		4,429	能楽教室の受講料ほか
収入合計		39,286	
人件費	0		留守係職員加給
施設管理運営費	10,438		
電気料	1,728		
ガス料	0		
水道料	33		
小破修繕料	107		
その他経費	26,880		雑金、賃借料ほか
施設維持管理運営費	39,283		
支出合計	39,283		

●平成 28 年度収支状況

・市としての支出

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	0		
補助金	26,378		
支出合計	26,378		

・施設管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		0	
ホール利用料		2,410	
その他利用料		0	
利用料収入		2,410	
入場料収入		6,476	
川崎市補助金		26,074	
その他収入		3,454	能楽教室の受講料ほか
収入合計		38,718	
人件費	0		館守属職員無し
施設管理運営費	9,656		
電気料	1,548		
ガス料	8		
水道料	28		
小破修繕料	175		
その他経費	2,737		雑金、賃借料ほか
施設維持管理運営費	38,720		
支出合計	38,720		

●平成 28 年度収支状況

・市としての支出

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	0		
補助金	26,074		
支出合計	26,074		

・施設管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		0	
ホール利用料		2,317	
その他利用料		0	
利用料収入		2,317	
入場料収入		6,692	
川崎市補助金		26,074	
その他収入		3,638	能楽教室の受講料ほか
収入合計		38,721	
人件費	0		館守属職員無し
施設管理運営費	9,584		
電気料	1,548		
ガス料	8		
水道料	28		
小破修繕料	370		
その他経費	2,718		雑金、賃借料ほか
施設維持管理運営費	38,727		
支出合計	38,727		

8. 施設のあり方に関する施設所管費の考え方

川崎第3楽堂は川崎市の能楽堂と比較し、収容規模（ホール4層1,148席）は比較的大規模であるが、集客と客層が定かでないため、施設維持費もこのあたりを想定している。一方で、利用客が施設の利用目的の転換を促しているため、今後の方向性を検討していく必要がある。

1. 施設概要

川崎市産業振興会館は、本市産業の発展と地域経済の活性化に寄与することを目的とし、昭和63年に設立された会館である。小規模の会議室から、研修室、ホール等があり、ホールについては、ロールバックチェアであり、平場として利用されることも多く、幅広い活用が可能である。

ホールの利用としては、会議での使われ方が主であるが、音楽利用も多くある。また、施設全体を活用した1000人規模のロボット競技会等の開催もあり、産業の発展等に寄与している。

《施設諸元》

- 所在地 : 川崎市幸区堀川町6番地20
- 建築年月日 : 昭和63(1988)年5月31日 【築33年】
- 構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 階層 : 地上13階、地下1階
- 敷地面積 : 1,460㎡
- 建物面積 : 10,095㎡
- ホール面積 : 827㎡ (楽屋等含めたホール関連部分の面積)
- ホール定員 : 478席【可動】
- 使用時間 : 午前9時から午後9時まで
- 休館日 : 年末年始(12月29日～1月3日)、電気設備点検日

《位置図》



舞台①



舞台②



客席(平土間)



客席(可動席設置時)

《利用料金》

単位：円

利用目的	9:00～	13:00～	18:00～
	12:00	17:00	21:30
非営利目的	7,200円	11,400円	11,400円
営利目的	14,400円	22,800円	22,800円

《条例上の位置付け(川崎市産業振興会館条例より)》

設置目的

経済の国際化、高度情報化、技術革新等による産業構造の変化に対応するため、企業間における情報交流、企業の技術開発、販路開拓事業の推進等を図り、もって本市産業の発展と地域経済の活性化に寄与する。

業務内容

- ・ 企業間の情報交流の促進並びに産業情報の収集及び提供に関すること。
- ・ 情報の高度化に対応する企業の技術振興及び人材育成に関すること。
- ・ 市内企業の製品の展示及び販路開拓の相談に関すること。
- ・ 施設及び設備(以下「施設等」という。)を利用に供すること。
- ・ 産業経済の調査研究に関すること。
- ・ その他設置目的を達成するために必要な事業を行うこと。

《政策的な位置付け(総合計画第2期実施計画より)》

基本政策4 活力と魅力あふれる力強い産業都市づくり

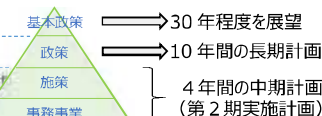
政策4-1 川崎の発展を支える産業の振興

施策4-1-3 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成

事務事業 川崎市産業振興財団運営支援事業

中小企業の経営力・技術力の高度化や新事業創出を促進するため、国や県、地域の産業支援機関等と連携を図り、多面的な支援を展開します。

政策体系イメージ



2. 施設レイアウト図



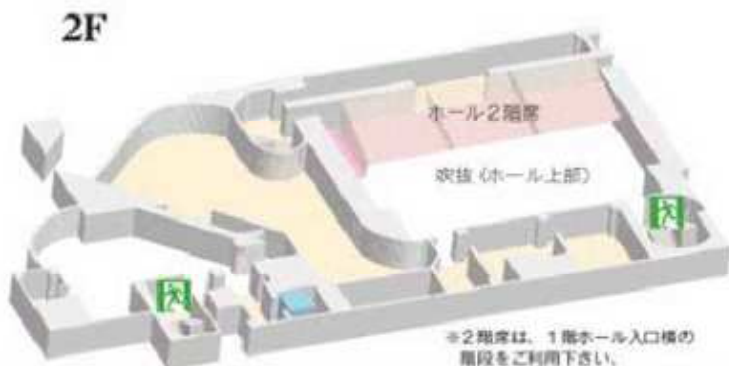
1 階 席		2 階 席	
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35	36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46
あ	い	う	え
お	か	き	く
け	こ	さ	し
せ	そ	す	せ
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35	36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46
あ	い	う	え
お	か	き	く
け	こ	さ	し
せ	そ	す	せ
4 5 6 7 8 9 10 11 12	13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35	36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46
あ	い	う	え
お	か	き	く
け	こ	さ	し
せ	そ	す	せ

ホール全席数 476席
 1階席 358席 (9列時: 322席)
 2階席 120席

あ列 11+12+11=34
 い列 12+12+12=36
 う列 12+12+12=36
 え列 12+12+12=36
 お列 12+12+12=36
 か列 12+12+12=36
 き列 12+12+12=36
 く列 12+12+12=36
 け列 12+12+12=36
 こ列 12+12+12=36
 1階合計 358席

さ列 9+12+9=30
 し列 9+12+9=30
 す列 9+12+9=30
 せ列 9+12+9=30
 2階合計 120席

総合計 476席



3. 利用用途

平成30年度の利用状況の詳細は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
会議・研修・講演会等	338コマ	47.6%
楽器演奏・合唱	141コマ	19.9%
物販	33コマ	4.6%
市場	30コマ	4.2%
懇親会	22コマ	3.1%
ロボット競技大会	21コマ	3.0%
演劇	18コマ	2.5%
施設見学	16コマ	2.3%
起業家オーディション	15コマ	2.1%
表彰式	12コマ	1.7%
展示会	11コマ	1.5%
その他	34コマ	4.8%
不明	19コマ	2.7%
保守・点検・清掃等	66コマ	—
利用無し	319コマ	—
合計	1095コマ	

その他内訳	コマ数
撮影	6コマ
商談会	6コマ
卒業式/入学式	5コマ
ダンス	5コマ
川崎市職員発令式等	3コマ
カラオケ大会	3コマ
詩吟発表会	2コマ
スピーチコンテスト	2コマ
寄席	2コマ
合計	34コマ

※施設保管の紙資料(申請時の行事名等が記載)を分析・整理することにより算出

※第1回部会で提示した数値は、予約時のふれあいネットデータを基にしているため、数値が異なる。

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	回数	団体名	コマ数
京急サービス㈱	19回	京急サービス㈱	45コマ
産業振興財団事業推進課	13回	産業振興財団事業推進課	36コマ
団体A（組合）	10回	団体A（組合）	30コマ
団体B（企業）	8回	産業振興財団産業支援部経営支援課	18コマ
団体C（管弦楽団）	8回	団体E（企業）	17コマ
団体D（障害者協会）	7回	団体D（障害者協会）	17コマ
産業振興財団産業支援部経営支援課	6回	団体B（企業）	16コマ
団体E（企業）	6回	産業振興財団	11コマ

※予約時のふれあいネットデータより算出（予約後のキャンセル等により実態と異なる場合がある）

5. これまでの主な修繕内容

【主な修繕内容】

- 平成27（2015）年度：自動制御設備改修（対象：施設全体）
- 平成29（2017）年度：自動火災報知設備改修（対象：施設全体）
- 平成30～令和1（2018～2019）年度：屋根・外壁改修（対象：施設全体）
- 令和1（2019）年度：乗用エレベーター改修（対象：施設全体）
空調設備改修（ESCO事業）（対象：施設全体）
照明LED化（ESCO事業）（対象：施設全体）
舞台照明設備改修（ESCO事業）（対象：ホール）

6. 今後想定される修繕内容（所管局要求分）

- 舞台機構・迫改修（対象：ホール）
- 受変電設備改修（対象：施設全体）
- 非常用エレベーター改修（対象：施設全体）

※点検により劣化の指摘のある吊物ワイヤー等については、安全性に係るため先行で実施予定。

7. 収支状況

新築・改修事業費及び平成28～30年度の収支状況は以下の通り

◀施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値▶

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	335,948		公有財産台帳より
施設全体	92,513		令和2年度までの改修費
ホール部分	9,504		令和2年度までの改修費
改修事業費	102,017		
新築・改修事業費合計	437,964		

●平成30年度収支状況

・市としての収支（ホール関連）

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	13,215		
支出合計	13,215	0	

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		13,215	
ホール利用料		13,040	
その他		1,227	会費、参加費ほか
収入合計		27,481	
人件費相当額	7,072		
施設管理運営費	3,870		
電気料	1,619		
ガス料	392		
水道料	277		
小破修繕料	77		
その他経費	1,475		
施設維持管理運営費	7,711		
事業費	2,482		人材育成事業ほか
支出合計	17,265		

●平成 29 年度収支状況

・市としての収支(ホール関連)

単位:千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	13,022		
支出合計	13,022	0	

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		13,022	
ホール利用料		12,884	
その他		1,232	会費、参加費ほか
収入合計		27,138	
人件費相当額	7,611		
施設管理運営費	3,365		
電気料	1,535		
ガス料	371		
水道料	321		
小破修繕料	103		
その他経費	1,412		
施設維持管理運営費	7,107		
事業費	2,158		人材育成事業ほか
支出合計	16,876		

●平成 28 年度収支状況

・市としての収支(ホール関連)

単位:千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	13,022		
支出合計	13,022	0	

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		13,022	
ホール利用		13,041	
その他		1,297	会費、参加費ほか
収入合計		27,360	
人件費相当額	7,517		
施設管理運営費	3,838		
電気料	1,448		
ガス料	332		
水道料	321		
小破修繕料	87		
その他経費	1,013		備品賃借料ほか
施設維持管理運営費	7,040		
事業費	2,711		人材育成事業ほか
支出合計	17,267		

8. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

産業振興会館は本市産業の発展と地域経済の活性化等のため、様々な企業支援を実施しており、産業振興会館ホールの本来目的（企業等の会議、展示会等）が実施できる場が必要であることから、それらの目的が阻害されなければ機能の見直しは可能である。

1. 施設概要

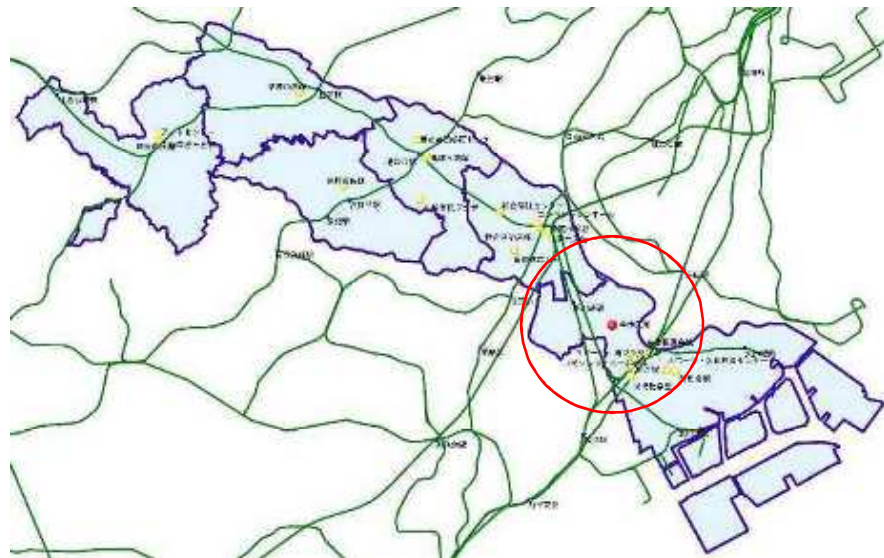
幸市民館は、市民の自主的な学習・文化活動を支援する生涯学習の場であり、ホール・会議室などの貸し出しのほか、さまざまな世代や層の人を対象とした各種事業を実施して、地域住民の「学び場、集う場づくり」を支援している。

幸市民館のホールは、市民劇団公演・合唱で利用されているが、会議、演劇、コンサート等、多目的な利用がなされている。なお、平成30年度に毎週金・土曜・日・月曜の4日間限定で行ったが、貸し出しが集中して利用が難しく、大きくは問題となっていないが、今年度（令和4年度）改修を行っている。

《施設諸元》

- 所在地：川崎市中原区平塚町1-1-1
- 建築年月日：昭和56（1981）年3月31日【延41年】
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 階層：地上3階、地下1階
- 敷地面積：3,433㎡
- 建物面積：3,073㎡
- ホール面積：1,402㎡（築造時を含めホール関係部分の面積）
- ホール定員：840名
- 利用時間：午前9時から午後9時まで
- 休館日：毎月第3月曜日及び年末年始（12月29日～1月3日）

《位置図》



舞台



床の工



客席の



客席の

《利用料金》

単位：円

入場料の有無		9:00~ 11:30	12:30~ 16:30	17:30~ 21:00
無料の場合	平日	7,200円	9,600円	13,720円
	土日祝	8,712円	11,016円	20,034円
1,000円未満 (平日単価の5割増)	平日	10,300円	11,500円	15,040円
	土日祝	12,312円	26,156円	34,124円
3,000円未満 (平日単価の10割増)	平日	11,520円	19,300円	33,120円
	土日祝	13,972円	21,296円	39,744円
3,000円以上 (平日単価の20割増)	平日	21,730円	29,040円	50,130円
	土日祝	26,232円	30,076円	58,304円

※ホールの予約料金は平日は無料の倍率に引き上げることが可能

《条例上の位置付け（川崎市市民館条例より）》

《設置目的》

市民のたより、実用、即興的教育、芸術及び文化に関する各種の事業を行ない、もって市民の教養の向上を図る

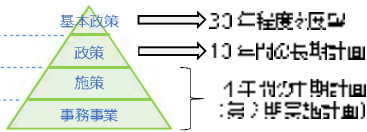
《業務内容》

- ・演劇、音楽、舞踊の上演に関する演劇・舞踊会場の提供
- ・講習会、講演会、講習会、講習会、通訳会等を開催すること
- ・図書、記録、抄本、資料等を貸し出し、その利用を図ること
- ・座席、照明、空調等の管理に関する業務を提供すること
- ・文化活動の奨励を行うこと
- ・視聴覚機器・器具の貸出しを行うこと
- ・社会教育関係団体等と協働を図ること
- ・電気及び設備の市民の集会所の他の公共的利用に供すること

＜政策的な配置の（総合計画第2期実施計画より）＞

- 基本政策 → 30年程度視野
- 政策 → 10年間の長期計画
- 施策 → 1年間の中期計画（第1期実施計画）
- 事務事業

政策体系イメージ



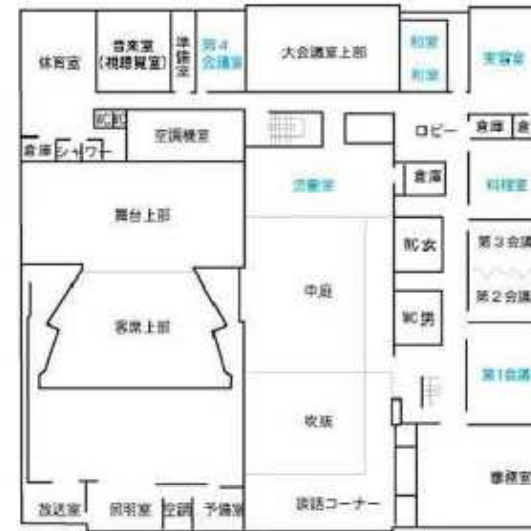
市民の学習・活動の支援、社会教育を通じた市民意識の向上、市民のエンタメ・文化に関する活動を推進し、学習・成長や地域の持続発展を促すため、市民の力による地域の発展を促すことを目指す。

2. 施設レイアウト図

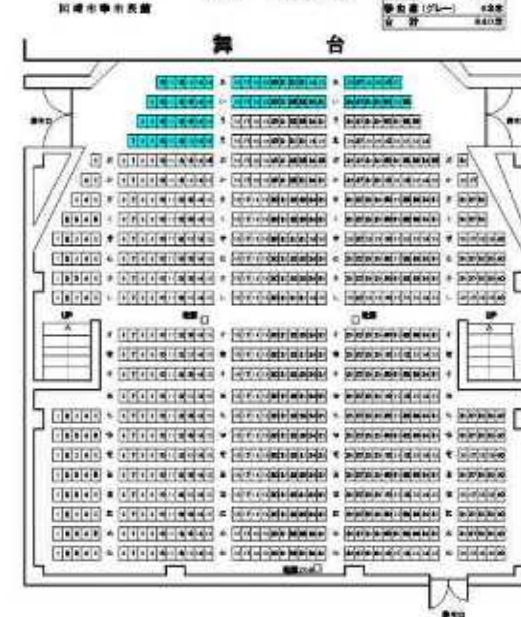
前内見取図 1階



前内見取図 2階



大ホール座席表



3. 利用用途

下表3月年度の利用状況(4月時点)以下の通り

利用用途	コマ数	割合
単独観音・音階	27,112	77.8%
会議・研修・備忘録等	11,812	33.8%
演劇	7,812	22.6%
音楽・ダンス等(複合イベント)	3,912	11.3%
バレー	2,912	8.4%
トウモロコシ	2,912	8.4%
ダンス	1,912	5.5%
健康学習	912	2.6%
生計委員会	1,912	5.5%
その他	3,912	11.3%
不計	2,912	8.4%
代金・年会・雑費等	9,812	—
利用合計	124,112	—

その他内訳	コマ数
入浴式・卒寿式	2,912
子育てイベント	2,912
寄席	2,912
有為心志大会	2,912
映画会	1,912
民謡	1,912
演劇	1,912
遊藝	1,912
消防訓練	1,912
	35,112

利用率：57.3%

※施設使用料(観音料)・利用料(行住者等が請求)を合算・整理することにより算出

※従って一部台で増えた数値は、予約時の残りのネットワークを減らしているため、数値が異なる

4. 利用団体の状況

下表3月年度の利用回数・利用コマ数以下の通り

団体名	回数
本町民館(保寿点検等)	37回
河奈川町管轄(扶免許等)施設等	29回
総合教育センター	14回
団体A(労働組合)	9回
団体B(劇団)	7回
団体C	7回
教育委員会事務局(学校教育部指導課)	7回
団体D(演劇)	6回
団体E(高校)	5回
団体F(ダンス)	5回

団体名	コマ数
本町民館(保寿点検等)	80,112
河奈川町管轄(扶免許等)施設等	14,812
総合教育センター	2,912
団体B(劇団)	2,912
団体C	2,912
教育委員会事務局(学校教育部指導課)	2,912
団体D(演劇)	2,912
団体A(労働組合)	2,912
団体G(演劇)	1,912
団体F(ダンス)	1,912

※予約時のみ残りのネットワークより算出(予約後のキャンセル等により変動する場合があります)

5. これまでの主な修繕内容

【主な修繕内容】

- ▶ 平成27年(2015年)4月：屋根・外壁改修 (対象：施設全体)
- ▶ 平成28年(2016年)4月：掃帚置き・照明・音響設備 (対象：ホール)
- ▶ 平成29年(2017年)4月：空調設備改修 (対象：施設全体)
- ▶ 令和1年(2019年)4月：自火警・非常放送設備改修 (対象：施設全体)
- ▶ 2020年4月改修 (対象：施設全体)
- ▶ 自來電化設備改修 (対象：施設全体)

6. 今後想定される修繕内容(所管局要求分)

- ▶ トイレ改修 (対象：施設全体)：現在工事中
- ▶ 舞台改修 (対象：施設全体)：現在工事中
- ▶ 中央空調設備改修 (対象：施設全体)：現在工事中

※令和1年度経過しており、元々の寿命や寿命から大きく残りの耐用年数に入っている設備が多いため、家切らば等を行うという可能性がある。

7. 収支状況

新築・改修事業費及び平成25年度以降3月年度の収支状況は以下の通り

※施設全体の収支状況を把握するため、面積按分等により算出した数値です。

●新築・改修事業費		単位：千円	
項目	支出	収入	備考
新築事業費	230,657		公有財産台帳より
施設全体	151,768		令和2年度までの改修費
ホール部分	324,007		令和2年度までの改修費
改修事業費	475,855		
新築・改修事業費合計	714,512		

●平成 30 年度収支状況

単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		8,677	
利用料収入		8,677	
収入合計		8,677	
人件費相当額	13,813		
施設管理運営費	16,109		
電気料	2,415		
ガス料	1,908		
水道料	664		
小域経費	463		
その他経費	630		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	22,122		
支出合計	35,936		

●平成 28 年度収支状況

単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		5,174	H28 11月-H29 5 会館休館
利用料収入		5,174	
収入合計		5,174	
人件費相当額	13,800		
施設管理運営費	11,378		
電気料	2,484		
ガス料	503		
水道料	547		
小域経費	90		
その他経費	443		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	15,838		
支出合計	29,740		

●平成 29 年度収支状況

単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		5,427	H28 11月-H29 5 全館休館
利用料収入		5,427	
収入合計		5,427	
人件費相当額	13,806		
施設管理運営費	15,470		
電気料	2,465		
ガス料	1,120		
水道料	524		
小域経費	175		
その他経費	182		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	20,014		
支出合計	33,821		

④ 今後の施設に対する施設所管課の考え方

市民館は「公民館」からホールの役割を担うべき施設として整備されたものであり、市民の自発的・主体的な学習活動を支援し、ふるさとづくりの場として、地域住民が生涯学習の場や文化活動の場を創出する場としてホールは必要であると認識し、今後ホールを有効活用し、市民館の活用を促していく。

1. 施設概要

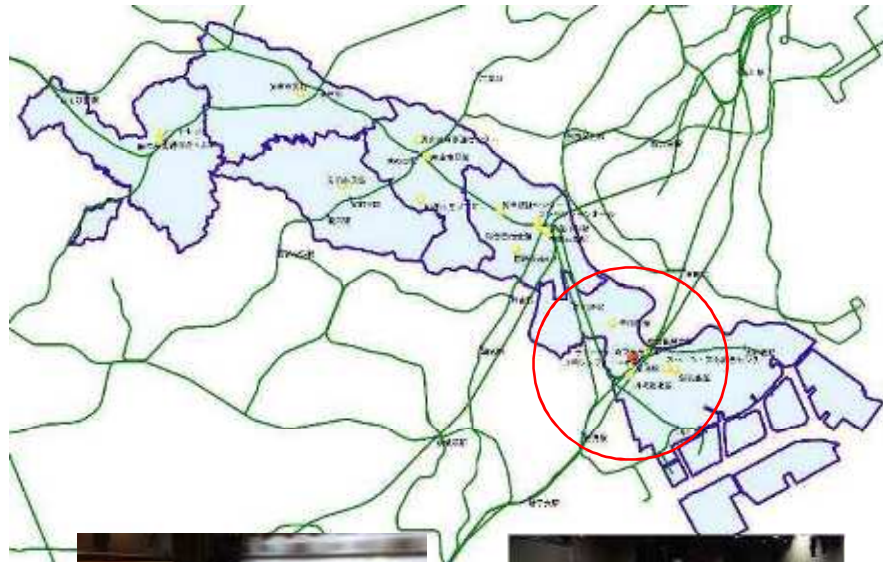
ラゾーナ川崎プラザソルホールは、川崎市長瀬地区において、川崎市が中心となる整備が予定されていることから、市民の文化芸術活動の振興のため、本市が公営ホールとして整備する必要がある。大規模商業施設内に平成14年度に同様の公営ホールが建設されたため、川崎市と事業者が協賛型共同建設、本市が施設建設費を川崎市文化財工費補助金で行い運営している。

大規模ホールは本市で初めての発表会、世帯ごとの観覧券の販売を行う場を作り出す多目的ホールとしており、試演での利用が最も多く、その他にも楽器演奏や、イベントなど様々な用途に活用することによって幅広く活用され、ダンスなど多目的に利用されている。

《施設諸元》

- 所在地：川崎市中原区高木町7-2-1（ラゾーナ川崎プラザ内）
- 建築年月日：平成18（2006）年3月31日【竣工15年】
- 建物面積：1,941.33㎡
- ホール面積：1,941.33㎡
- ホール定員：2,000名【可動】
- 利用時間：午前10時から午後10時まで
- 休館日：2月2日、川崎プラザ休館日

《位置図》



ステージ

客席

《利用料金》

利用料金	単位：円			
	10:00~ 12:30	13:00~ 17:00	18:00~ 22:00	
文化・芸術およびそれに類する利用				
無料の場合	平日	7,700円	13,300円	20,000円
	土日祝	8,300円	16,400円	23,400円
1,000円以下	平日	16,500円	27,800円	34,800円
	土日祝	18,300円	34,000円	43,000円
1,001円~ 3,000円以下	平日	24,200円	43,300円	60,500円
	土日祝	28,300円	49,900円	73,600円
3,001円~ 5,000円以下	平日	36,800円	55,000円	90,200円
	土日祝	42,800円	63,000円	105,400円
5,001円以上	平日	50,500円	97,400円	118,500円
	土日祝	72,300円	108,800円	178,500円
文化・芸術およびそれに類する利用以外の利用				
商品発表会、展示会等	平日	220,000円		
	土日祝	270,000円		
会議、セミナー等	平日	33,000円		
	土日祝	110,000円		
3,001円~ 5,000円以下	平日	132,000円		
	土日祝	160,000円		
5,001円以上	平日	220,000円		
	土日祝	270,000円		

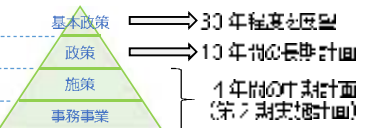
《条例上の位置付け》

公の施設では無いが、条例上の位置付けは無い。

《政策的な位置付け（総合計画第2期実施計画より）》

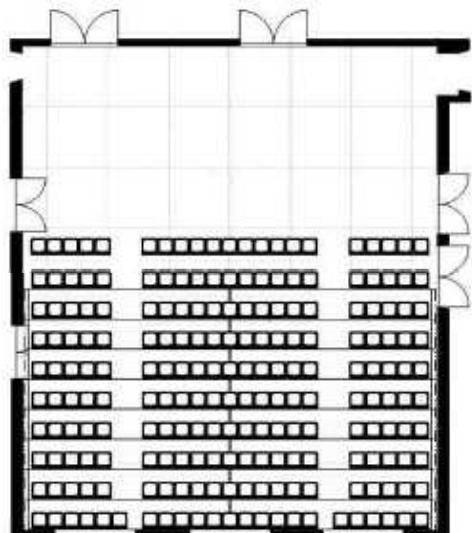
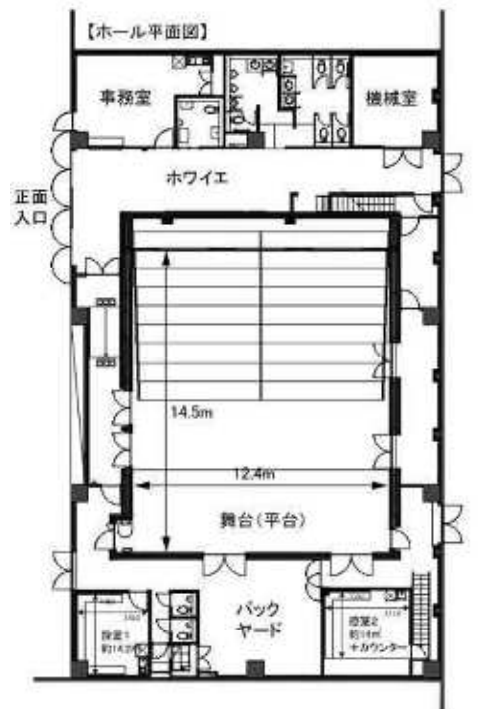
- 基本政策4 香りが広がるさらさらの川崎市づくり
- 政策4-4 エンターテインメント文化の振興を図る
- 政策4-4-1 市民の文化芸術活動の振興
- 事業事業 市民文化活動支援事業

政策体系イメージ



市民の参加と文化芸術活動の向上等により、多様な文化活動が実現し、市民が文化芸術の楽しさを享受し、本市で発表と誇りをもち、創造的な人間関係を築き出すことに取り組む。

2. 施設レイアウト図



3. 利用用途

平成30年度の利用状況の割合は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
演劇	69コマ	32.3%
楽器演奏・合唱	69コマ	32.3%
ダンス	25コマ	11.9%
展示会	49コマ	23.1%
楽会	39コマ	18.3%
会議・研修・講習会等	18コマ	8.5%
上映会	9コマ	4.2%
作業イベント	9コマ	4.2%
音楽教室	9コマ	4.2%
模写コンサート	9コマ	4.2%
その他	61コマ	28.7%
不明	1コマ	0.5%
保守・点検・清掃等	30コマ	—
利用無し	58コマ	—
	215コマ	

その他内訳	コマ数
制作委員会	3コマ
祝賀相模会	3コマ
引渡のメンテナンス	3コマ
生信発表会	3コマ
バレー	1コマ
支援	1コマ
演奏会	1コマ
卒業式	3コマ
慈善相模会	3コマ
発表	3コマ
面接	1コマ
クリスマス	1コマ
研修	3コマ
	51コマ

利用率：94.0%

★施設運営の経費削減（印刷時の印字名簿が削減）を公称・整理することにより達成

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数は以下の通り

団体名	コマ数
団体A（演劇）	69コマ
団体B（演劇）	58コマ
団体C（演劇）	11コマ
団体D（演劇）	11コマ
団体E（楽会）	11コマ
団体F（ダンス）	25コマ
団体G（展示会）	49コマ
団体H（演劇）	49コマ
団体I（演劇）	49コマ

★施設運営の経費削減（印刷時の印字名簿が削減）を公称・整理することにより達成

5. これまでの主な修繕内容及び今後想定される修繕内容

【上の修繕内容】

- > 令和2年度(2020年度)年度：修繕明細表(改修)の(1)に(実施)並(保全)

【下の修繕内容】

- > 空調設備のメンテナンス(実施)並(保全)

6. 収支状況

※新築・改修事業費及び平成28年度～30年度の収支状況は以下の通り

●新築・改修事業費 単位:千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	279,608		
改修事業費	0		令和2年度までの改修費
新築・改修事業費合計	279,608		

●平成30年度収支状況

・市としての収支 単位:千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	0		
川崎市補助金	25,101		
支出合計	25,101		

・施設管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		0	
ホール利用料		39,953	
その他利用料		0	
利用料収入		39,953	
入場料収入		1,905	
川崎市補助金		25,101	
その他収入		374	
収入合計		67,333	
人件費	4,075		
施設管理運営費	27,026		
電気料	3,408		負担金として支出
ガス料	1,002		
水道料	529		負担金として支出
小規模修繕料	211		
その他経費	29,434		賃借料ほか
施設維持管理運営費	56,418		
支出合計	60,494		

●平成29年度収支状況

・市としての収支 単位:千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	0		
川崎市補助金	25,142		
支出合計	25,142		

・施設管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		0	
ホール利用料		37,850	
その他利用料		0	
利用料収入		37,850	
入場料収入		2,436	
川崎市補助金		25,142	
その他収入		523	
収入合計		65,951	
人件費	3,888		
施設管理運営費	29,110		
電気料	2,830		負担金として支出
ガス料	800		
水道料	415		負担金として支出
小規模修繕料	329		
その他経費	23,863		賃借料ほか
施設維持管理運営費	56,567		
支出合計	60,536		

●平成28年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	0		
川崎市補助金	23,730		
支出合計	23,730		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		0	
ホール利用料		38,208	
その他利用料		0	
利用料収入		38,208	
入場料収入		2,293	
川崎市補助金		23,730	
その他収入		605	
収入合計		64,776	
人件費	38,781		
施設管理運営費	28,110		
電気料	3,208		負担金として支出
ガス料	870		
水道料	500		負担金として支出
小修繕材料	848		
その他経費	24,252		費借料ほか
施設維持管理運営費	57,782		
支出合計	61,770		

7. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

三ツ子川川岸プラザは市の強制的な利用を指定された施設であり、利用が盛況にもかかわらず、市民の文化活動拠点の振興がやみくまに進んでいる。今後の引合戦で、市民の文化芸術活動の振興に寄与するため、継続して活用を行ってほしい。

川崎シンフォニーホールの概要

資料 2-7

1. 施設概要

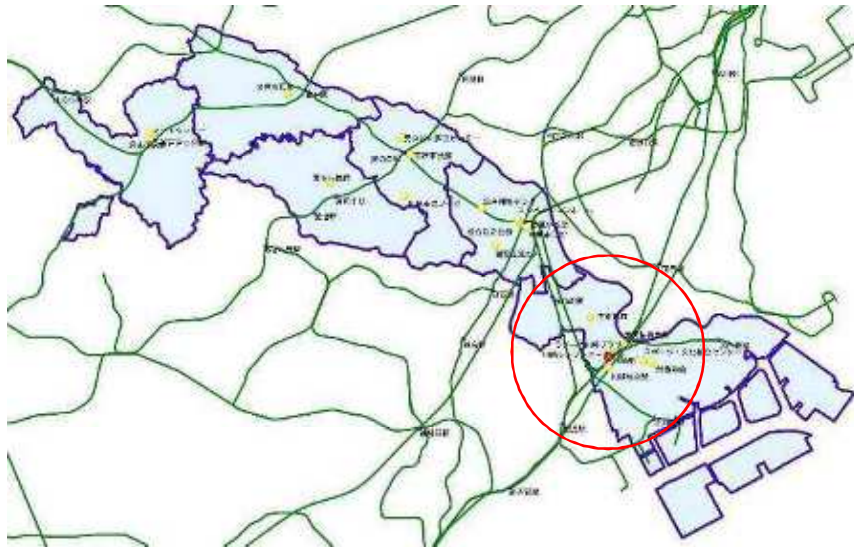
ミューザ川崎シンフォニーホールは本市が文化都市へと変貌していくシンボルとして、平成15年に建築された。世界有数の音響を誇ることが評価され、著名なオーケストラによる講演が行われる音楽の殿堂としての地位を確立するなど、本市が進める「音楽によるまちづくり」に貢献している。主催・共催事業も半数あり、ワンコインコンサートなどカジュアルなプログラムも作ることで、市民の音楽に触れる機会も提供している。

ホールはヴィンヤード型となっており、演奏者と客席の一体感、臨場感があり、鑑賞の目的に沿った席を選ぶことができるなどの特徴がある。

《施設諸元》

所在地 : 川崎市幸区大宮町1310
 建築年月日 : 平成15(2003)年12月13日 【築18年】
 構造 : 鉄骨造
 階層 : 地上27階、地下2階
 敷地面積 : 10,669㎡
 建物面積 : 16,115㎡
 ホール面積 : 12,936㎡ (楽屋等含めたホール関連部分の面積)
 所有形態 : 区分所有
 ホール定員 : 1,997席
 使用時間 : 午前9時から午後10時まで
 休館日 : 年末年始(12月29日～1月3日)

《位置図》



舞台



客席



パイプオルガン

《利用料金》

単位：円

利用用途別		9:00~ 12:00	13:00~ 16:30	17:30~ 22:00
本番利用 A タイプ (全席 1,997 席利用)	平日	258,000円	403,000円	571,000円
	土日祝	309,600円	483,600円	685,200円
本番利用 B タイプ (1,095~1,566 席利用)	平日	232,000円	362,700円	513,900円
	土日祝	278,640円	435,240円	616,680円
本番利用 C タイプ (1,094 席利用)	平日	206,400円	322,400円	456,800円
	土日祝	247,680円	386,880円	548,160円
練習/準備利用	平日	103,200円	161,200円	228,400円
	土日祝	123,840円	193,440円	274,080円

《条例上の位置付け(川崎シンフォニーホール条例より)》

設置目的

音楽の鑑賞の機会の提供、音楽活動の振興等を図り、もって市民文化の発展に寄与する。

業務内容

- ・音楽の鑑賞会を開催すること。
- ・音楽の鑑賞、音楽活動等のための施設及び設備を利用に供すること。
- ・音楽活動の支援を行うこと。
- ・その他設置目的を達成するために必要な事業に関すること。

《政策的な位置付け(総合計画第2期実施計画より)》

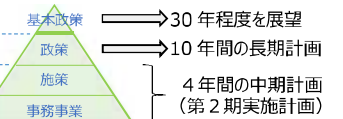
基本政策 4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

政策 4-8 スポーツ・文化芸術を振興する

施策 4-8-3 音楽や映像のまちづくりの推進

事務事業 川崎シンフォニーホール管理運営事業

政策体系イメージ



世界的な音楽家の指揮や演奏など良質な音楽鑑賞の機会や「市民の晴れの舞台」を提供することで、市民の音楽活動の振興を図るため、「音楽のまち・かわさき」の中核施設としてミューザ川崎シンフォニーホールを運営します。

2. 施設レイアウト図

ホール1階（建物4階）



ホール2階（建物5階）



ホール3階 (建物6階)



ホール4階 (建物7階)



3. 利用用途

平成30年度の利用状況の詳細は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
楽器演奏・合唱	726 コマ	98.1%
その他	14 コマ	1.9%
保守・点検・清掃等	323 コマ	—
利用無し	32 コマ	—

1095 コマ

利用率：95.9%

その他内訳	コマ数
見学会	4 コマ
入学式（音楽公演含む）	2 コマ
賀詞交換会（音楽公演含む）	2 コマ
記者発表会	2 コマ
ワークショップ	2 コマ
ジャケット撮影	1 コマ
避難訓練	1 コマ

14 コマ

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	コマ数
川崎市文化財団グループ （ホール主催・共催事業）	405 コマ
団体A（楽器演奏）	148 コマ
団体B（楽器演奏）	25 コマ
団体C（楽器演奏）	8 コマ
団体D（楽器演奏）	5 コマ
団体E（楽器演奏）	5 コマ

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

5. これまでの主な修繕内容及び今後想定される修繕内容

【主な修繕内容】

- ▶ 平成24（2012）年度：震災被害復旧（対象：ホール）
- ▶ 平成30～令和1（2018～2019）年度：音響・舞台等其他設備改修（対象：ホール）
 - 舞台照明設備改修（対象：ホール）
 - 舞台吊物設備改修（対象：ホール）
 - パイプオルガン再整音・調律（対象：ホール）

※今後の修繕においては劣化調査・診断等を行った上で検討していく。

6. 収支状況

新築・改修事業費及び平成28～30年度の収支状況は以下の通り

◀施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値▶

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	13,599,608		公有財産台帳より
施設全体	1,572,300		令和2年度までの改修費
ホール部分	438,480		震災復旧費用含む
改修事業費	2,010,780		
新築・改修事業費合計	15,610,389		

●平成30年度収支状況

・市としての収支

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	588,392		
支出合計	588,392		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		588,392	
ホール利用料		76,654	H31.1.15～3.31 休館
入場料収入		255,401	
補助金		46,506	芸術文化振興費補助金ほか
その他		31,062	スポンサー協賛金ほか
収入合計		998,016	
人件費相当額	69,547		
施設管理運営費	418,672		
電気料	48,652		
ガス料	0		
水道料	5,011		
小破修繕料	5,194		
支払負担金	144,465		
業務分担金	155,860		
その他経費	85,374		
施設維持管理運営費	932,776		
支出合計	932,776		

●平成 29 年度収支状況

・市としての収支

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	585,534		
支出合計	585,534		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		585,534	
ホール利用料		102,309	
入場料収入		263,896	
補助金		44,633	芸術文化振興費補助金ほか
その他		34,296	スポンサー協賛金ほか
収入合計		1,030,667	
人件費相当額	77,622		
施設管理運営費	437,131		
電気料	44,194		
ガス料	0		
水道料	4,726		
小破修繕料	4,726		
支払負担金	148,922		
業務分担金	155,860		
その他経費	89,460		
施設維持管理運営費	962,642		
支出合計	962,642		

●平成 28 年度収支状況

・市としての収支

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	585,601		
支出合計	585,601		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		585,601	
ホール利用料		101,784	
入場料収入		266,112	
補助金		46,399	芸術文化振興費補助金ほか
その他		33,864	スポンサー協賛金ほか
収入合計		1,033,760	
人件費相当額	72,203		
施設管理運営費	431,263		
電気料	42,258		
ガス料	0		
水道料	4,604		
小破修繕料	7,220		
支払負担金	151,382		
業務分担金	149,595		
その他経費	90,714		
施設維持管理運営費	949,238		
支出合計	949,238		

7. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

ミューザ川崎シンフォニーホールは世界水準の優れた音響性能を持ち、国際的にも屈指のコンサートホールとして、本市が進める音楽のまちづくりの中核施設となっている。今後も良質な音楽の鑑賞機会の提供や、市民の購れの舞台としての演奏会などを行うことで、市の価値を高めながら地域の文化拠点としての取組を継続していく。

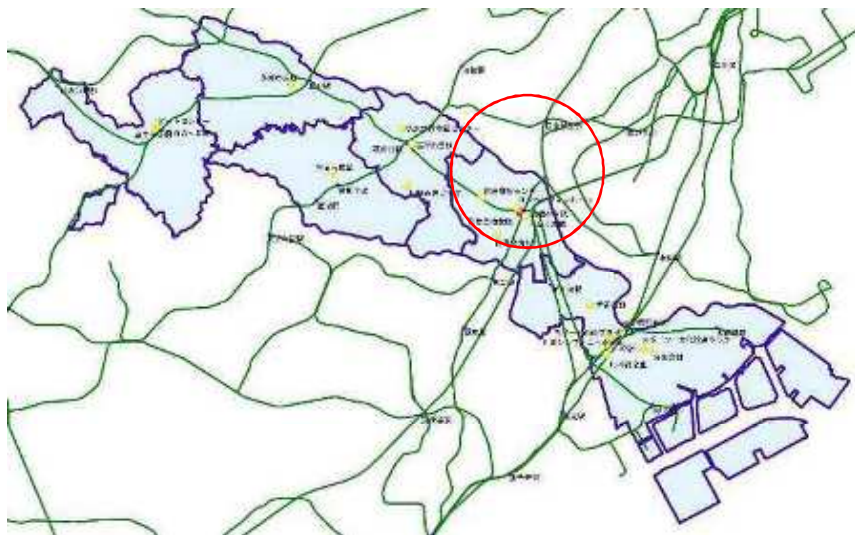
1. 施設概要

総合自治会館は、小杉町3丁目東地区の再開発等、総合自治会館周辺の開発動向を踏まえ、引き続き市民自治活動の振興を図るため、再開発ビル内に移転する形で令和2年度に開館した。ホールのほか、会議室や多目的室の機能を有しており、ホールは防音機能があり、全町連の会議などの市民自治活動のほか、楽器等の練習など多目的な利用がされている。

〈施設諸元〉

- 所在地 : 川崎市中原区小杉町3丁目600番
- 建築年月日 : 令和2(2020)年6月24日 【築1年】
- 構造 : 鉄骨造
- 階層 : 地上4階
- 敷地面積 : 4,26㎡ (持分割合)
- 建物面積 : 1,500㎡
- ホール面積 : 344㎡ (楽屋等含めたホール関連部分の面積)
- 所有形態 : 区分所有
- ホール定員 : 200席 (スタッキングチェア)
- 使用時間 : 午前9時から午後9時まで
- 休館日 : 年末年始(12月29日～1月3日)、施設点検日(原則毎月第3日曜日)

〈位置図〉



客席側から見た舞台方向



舞台

〈利用料金〉

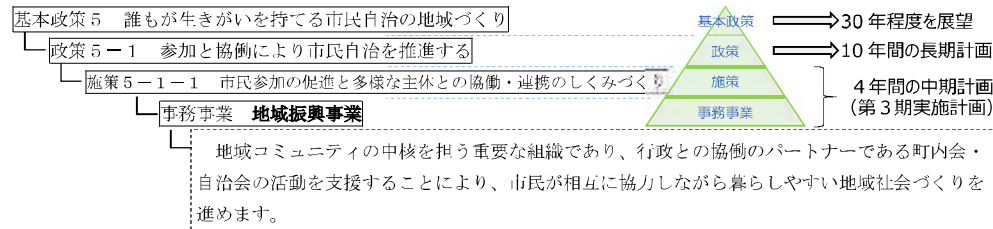
単位:円

入場料の有無		9:00~	13:00~	17:30~
		12:00	17:00	21:00
無料の場合	平日	6,930円	11,550円	11,550円
	土日祝	8,310円	13,860円	13,860円
1,000円未満 (5割増)	平日	10,395円	17,325円	17,325円
	土日祝	12,465円	20,790円	20,790円
3,000円未満 (10割増)	平日	13,860円	23,100円	23,100円
	土日祝	16,620円	27,720円	27,720円
3,000円以上 (20割増)	平日	20,790円	34,650円	34,650円
	土日祝	24,930円	41,580円	41,580円

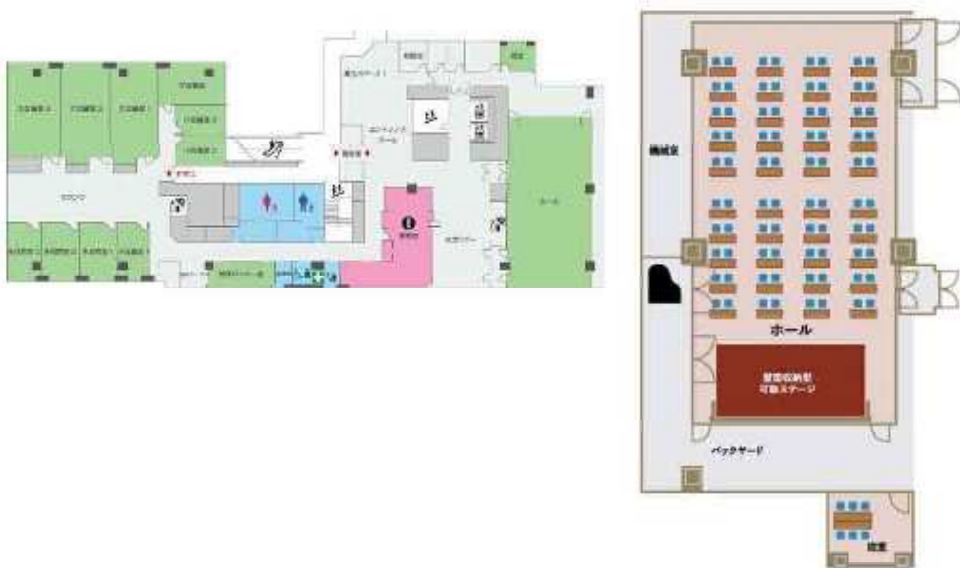
〈条例上の位置付け〉

条例上の位置付け無し。

〈政策的な位置付け(総合計画第3期実施計画素案より)〉



2. 施設レイアウト図



3. 収支状況（ホール関連部分）

新総合自治会館の新築・改修事業費及び令和2年度の収支状況は以下の通り。

＜施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値＞

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	413,589		
改修事業費	0		
新築・改修事業費合計	413,589		

●令和2年度収支状況

・市としての支出

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	0		
補助金	10,271		
支出合計	10,271		

・施設管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		0	
ホール利用料		2,064	
川崎市補助金		10,271	
その他収入		877	
収入合計		13,212	
人件費	7,825		
施設管理運営費	1,741		
電気料	1,169		
ガス料	0		
水道料	94		
小破修繕料	18		
その他経費	1,411		
施設維持管理運営費	19,331		
支出合計	27,156		

※新総合自治会館は令和2年8月1日開館のため、事業収支から稼働日数按分等により算出

4. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

総合自治会館は研修会、全町連の会議などの市民自治活動のほか、楽器等の練習、ピアノ発表会など多目的に利用されている。今後も多目的な利用も促しながら市民自治活動を推進していきたい。

1. 施設概要

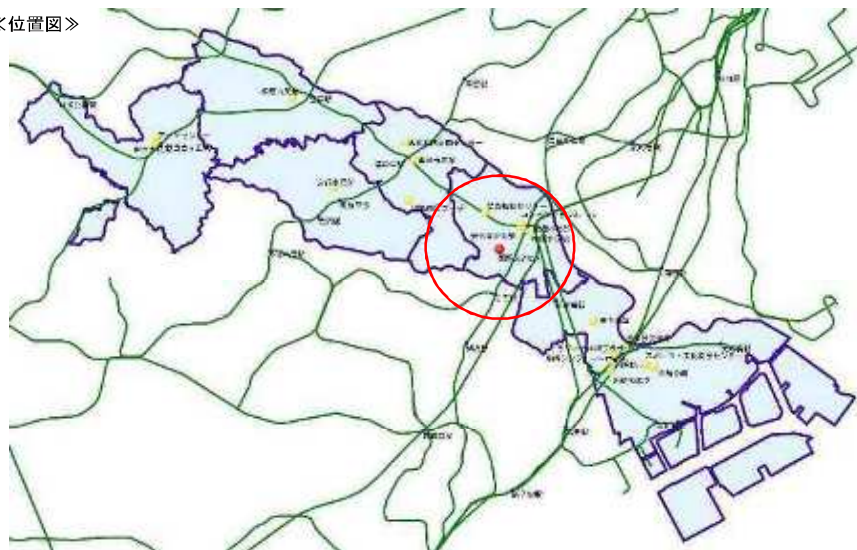
国際交流センターは地域社会の国際化を担う市民の活動を支え、言葉や民族、文化の異なる多くの世界の都市や市民との交流、協力を推進するため、学習と実践の拠点として、平成6年にオープンした。川崎市国際交流センターの施設は、本館建物及び別棟、和風別館からなり、本館はイベントやパーティー、催し物が開催できるホールやレセプションルームを有するほか、打ち合わせや各種の会議、語学講座などに利用できる会議室がある。

ホールの利用としては、インターナショナルフェスティバルや地球市民講座などで日本の伝統文化の披露などが行われており、また、ロールバックチェアであることから平場にてダンス利用など幅広く利用されている。

《施設諸元》

- 所在地 : 川崎市中原区木月祇園町2-2
- 建築年月日 : 平成6(1944)年6月30日 【築27年】
- 構造 : 鉄筋コンクリート造
- 階層 : 地上3階、地下1階
- 敷地面積 : 15,787㎡
- 建物面積 : 9,091㎡
- ホール面積 : 1,026㎡ (楽屋等を含めたホール関連部分の面積)
- ホール定員 : 264席
- 使用時間 : 午前9時から午後9時まで
- 休館日 : 年末年始(12月29日～1月3日)、設備点検日

《位置図》



舞台側(中央はスクリーン)



客席(平十間)

《利用料金》

単位:円

利用料金	9:00~12:00	13:00~17:00	18:00~21:30
平日	3,700円	4,700円	5,800円
土日祝	4,440円	5,640円	6,960円

《条例上の位置付け(川崎市国際交流センター条例より)》

設置目的

市民の国際理解を増進するとともに、国際的な文化交流及び市民交流を促進することにより相互理解を深め、もって市民の文化の向上及び国際友好親善の発展に寄与する。

業務内容

- ・国際交流に関する情報及び資料の収集及び提供を行うこと。
- ・国際交流に関する研修会、講演会等を行うこと。
- ・国際交流を促進するための行事を行うこと。
- ・施設及び設備(以下「施設等」という。)を利用に供すること。
- ・その他設置目的を達成するために必要な事業を行うこと。

《政策的な位置付け(総合計画第2期実施計画より)》

基本政策4 活力と魅力あふれる力強い産業都市づくり

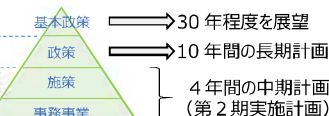
政策4-9 戦略的なシティプロモーション

施策4-9-1 都市イメージの向上とシビックプライドの醸成

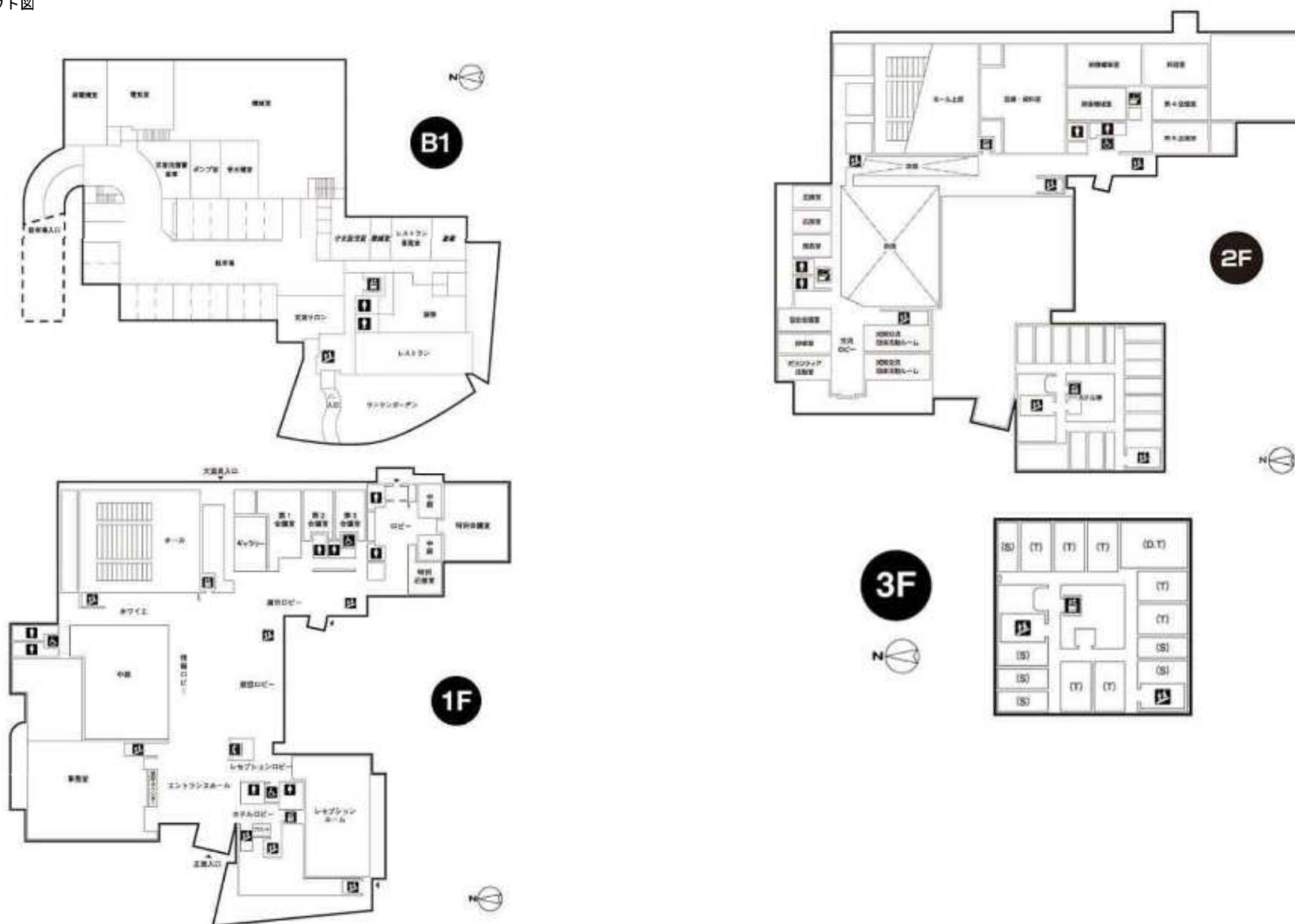
事務事業 国際交流センター管理運営事業

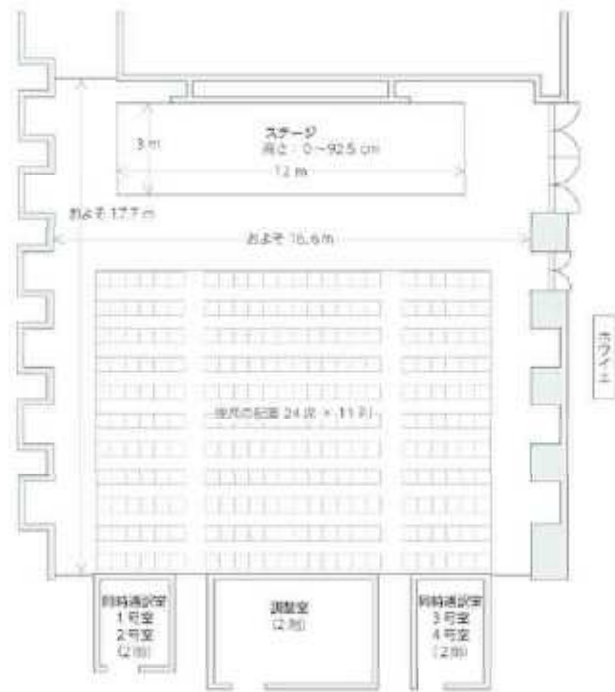
市民の国際理解の増進及び国際友好親善の発展等に寄与するため、「国際交流センター」を運営します。

政策体系イメージ



2. 施設レイアウト図





3. 利用用途

平成30年度の利用状況の詳細は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
楽器演奏・合唱	250 コマ	35.3%
ダンス	157 コマ	22.2%
会議・研修・講演会等	129 コマ	18.2%
パレエ	83 コマ	11.7%
映画会	16 コマ	2.3%
演劇	14 コマ	2.0%
その他	56 コマ	7.9%
不明	3 コマ	0.4%
保守・点検・清掃等	87 コマ	—
利用無し	300 コマ	—

1095 コマ

利用率：70.2%

その他内訳	コマ数
祭り（江戸時代の衣装体験等）	9 コマ
撮影	6 コマ
カラオケ大会	6 コマ
幼稚園等のお遊戯会	5 コマ
外国人のスピーチコンテスト	5 コマ
フィットネス	4 コマ
保育園運動会	3 コマ
英語発表会	3 コマ
武道発表会	3 コマ
日本舞踊	3 コマ
表彰式	2 コマ
美容学校のイベント	2 コマ
新年会	1 コマ
太極拳の練習	1 コマ
チアリーディングの練習	1 コマ
入社式	1 コマ
新入生歓迎イベント	1 コマ

56 コマ

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

※第1回部会で提示した数値は、予約時のふれあいネットデータを基にしているため、数値が異なる。

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	回数
団体A（ジャザサイズ）	46回
団体B（ジャザサイズ）	41回
団体C（ジャザサイズ）	38回
団体D（ダンス）	36回
川崎市国際交流協会	28回
団体E（合唱団）	22回
団体F（合唱団）	20回
団体G（オペラ）	12回

団体名	コマ数
川崎市国際交流協会	73コマ
団体D（ダンス）	70コマ
団体C（ジャザサイズ）	46コマ
団体B（ジャザサイズ）	41コマ
団体A（ジャザサイズ）	40コマ
団体E（合唱団）	22コマ
団体H（企業）	21コマ
団体F（合唱団）	20コマ

※予約時のふれあいネットデータより算出（予約後のキャンセル等により実態と異なる場合がある）

5. これまでの主な修繕内容

【主な修繕内容】

- 平成24（2012）年度：自動制御設備改修（対象：施設全体）
- 平成26～27（2014～2015）年度：空調設備オーバーホール（対象：施設全体）
- 平成30（2018）年度：舞台機構設備改修（対象：ホール）
- 令和1（2019）年度：自家発オーバーホール（対象：施設全体）
- 令和2（2020）年度：屋上防水改修（対象：施設全体）

6. 今後想定される修繕内容（所管局要求分）

- 外壁改修（対象：施設全体）※現在工事中
 - エレベーター改修（対象：施設全体）
 - 空調設備改修（対象：施設全体）
- ※エレベーター改修は休館を伴うため、合わせて複数1事を実施予定。

7. 収支状況

新築・改修事業費及び平成28～30年度の収支状況は以下の通り

＜施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値＞

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	547,005		公有財産台帳より
施設全体	27,535		令和2年度までの改修費
ホール部分	20,809		令和2年度までの改修費
改修事業費	48,344		
新築・改修事業費合計	595,349		

●平成30年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	18,306		
支出合計	18,306		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		18,306	
ホール施設利用料		3,227	
事業収入		470	
その他収入		1,132	
収入合計		23,134	
人件費相当額	5,999		
施設管理運営費	9,433		
電気料	1,884		
ガス料	672		
水道料	505		
修繕料	561		
その他経費	3,370		
施設維持管理運営費	16,425		
支出合計	22,425		

●平成 29 年度収支状況

・市としての収支

単位:千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	18,347		
支出合計	18,347		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		18,347	
ホール施設利用料		3,339	
事業収入		451	
その他収入		1,425	
収入合計		23,562	
人件費相当額	5,882		
施設管理運営費	9,037		
電気料	1,771		
ガス料	594		
水道料	496		
修繕料	561		
その他経費	3,448		
施設維持管理運営費	15,906		
支出合計	21,788		

●平成 28 年度収支状況

・市としての収支

単位:千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	18,456		
支出合計	18,456		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		18,456	
ホール施設利用料		3,283	
事業収入		420	
その他収入		431	
収入合計		22,590	
人件費相当額	5,135		
施設管理運営費	9,412		
電気料	1,738		
ガス料	534		
水道料	519		
修繕料	561		
その他経費	2,808		
施設維持管理運営費	15,571		
支出合計	20,705		

8. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

国際交流センターに関する事業を展開するにあたり、国内外の文化の相互理解を深めることが重要であり、ホールなどの場は必要であると考えている。立地場所については、中原が適切であるかは検討する余地があるとともに、必要な事業が実施可能であれば、他施設との複合化の可能性も考えられる。